元総社蒼海遺跡群（134）

2020・2

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群（134）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2020.2

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群(134)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2020.2

前橋市教育委員会

巻頭図版１［遺構：調査区全景］

調査区全景（垂直・上が東）

調査区全景（調査区東より浅間火山を俯瞰）W－１の延長に浅間火山が見えるが緯度は１分４秒異なる。

巻頭図版２［遺構・遺物：Ｗ－１］

Ｗ－１全景（東）

Ｗ－１土層断面（東）　　Ｗ－１出土遺物（第20図 -8）

は　じ　め　に

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる群馬県の県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始め、市内のいたる所にその息吹を感ぜられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ､王山古墳･天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国府、国分僧寺、国分尼寺など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地となり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群(134) は古代上野国の中枢地域の調査であり、上野国府推定地域にも近接することから、調査成果に多くの注目を集めております。発掘調査の結果、上野国府が存在した時期の区画溝跡が確認されました。この溝自体は、これまで他の地点でも確認されていましたが、今回の調査地点での残存状況は良好なものでした。他に古墳時代などの住居跡も多数確認されています。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進めることができました。また、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和２年２月

前橋市教育委員会

教育長　　**塩　﨑　政　江**

例　　言

1　本書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴って実施した元総社蒼海遺跡群(134) の発掘調査報告書である。
2　遺跡の所在地　群馬県前橋市総社町総社3588-1・3588-2・3588-3の各一部
3　調査は、前橋市教育委員会の指導のもとに委託者 前橋市長　山本　龍（都市計画部区画整理課）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社(代表取締役 須永眞弘)が実施した。
　発 掘 担 当 者　並木史一（前 橋 市 教 育 委 員 会）
　　瀧澤典雄（スナガ環境測設株式会社）
4　発掘調査期間　令和元年７月16日～令和元年９月26日
　整　理　期　間　令和元年９月27日～令和２年２月28日
5　調　査　面　積　259.0㎡
6　本調査における図面･写真・遺物・PDF等の記録は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
7　発掘は、調査計画…須永眞弘、安全管理・助言…金子正人、平面測量…須永薫子・岡田弥生、断面実測…瀧澤典雄・田口洋子・高橋ゆき子、遺構撮影…瀧澤典雄、重機オペレーター…武井知司、事務連絡…夏原淑子、作業事務…須永　豊が担当した。
8　本書は前橋市教育委員会の指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成した。
　Ⅰ調査に至る経緯は並木史一(前橋市教育委員会)、それ以外は瀧澤典雄が、校正は須永眞弘・金子正人が担当した。
9　整理は以下の分担で行った。
　測量データ整理、断面図トレース、遺物撮影……須永薫子
　遺物と写真・遺構データの整理・計測・採拓、遺構図整図、断面図の整合・トレースと
　遺構挿図・遺構図版作製、成果品納品準備……岡田弥生
　データ入力、遺物実測図トレースと遺物挿図・遺物観察表・遺物図版作製、成果品納品準備……夏原淑子
　遺物洗浄・注記…田口洋子・高橋ゆき子　：遺物実測…瀧澤典雄・山崎由紀枝　：内業事務…須永　豊
10　遺構掘削作業は武井知司・今井保美・多胡栄夫・生駒朝男・多胡茂子・染谷綾子・萩原　誠・内田昭男・笹尾倍治・清水源治・栗田　満・高井敏男・進藤祐孝・菊川　毅・西谷徳雄・竹内利夫・田辺晴彦・佐復　進が担当した。
11　資・器材搬入出作業は長澤俊男・山形春男が担当した。
12　空撮はＰ．Ｉ．Ａシセイドー（代表 守谷純一）に依頼して行った。

凡　　例

1　遺跡のコード番号は１Ａ241である。
2　第１図は前橋市発行1：6,000「前橋市現形図」、第2図は国土地理院発行1：200,000「長野」「宇都宮」、第３図は国土地理院発行1：25,000「前橋」を改変して使用しそれ以外は出典を図中に明示した。
3　遺構名またはその略号は次のとおりである。
　竪穴建物跡･･･竪穴住居跡・Ｈ　溝跡･･･Ｗ　土坑･･･Ｄ　竪穴住居跡内ピット･･･Ｐ1
4　実測図の縮尺は次のとおりである。
　遺構　竪穴住居跡・土坑･･･1/60　溝跡･･･1/100　竪穴住居跡竈･･･1/30　全体図･･･1/100
　遺物　土器･･･1/3・1/4　瓦･･･1/6　石製品･･･1/3　鉄・銅製品･･･1/2・1/3　埴輪･･･1/3
　鉄滓・羽口･･･1/2
5　計測値については、（　）は現存値、［　］は推定値を表す。
　遺物観察表の法量で①は口径、②は底径、③は最大径(幅)、④は器高(長さ)を表し、単位はcmであり、重さの単位はg(グラム)である。
6　土層断面の土色名および土器類の色調名は、『新版標準土色帖』(農林省農林水産技術会議事務局監修 財団法人日本色彩研究所 色票監修)2000に依った。
7　実測図中のスクリーントーンは下記のとおりである。
　遺　構　図　焼土･････････　炭化物･････････････　構築面･･･
　遺　物　図　須恵器断面･･･　緑・灰釉陶器の釉･･･
8　火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。
　Ａｓ-B(浅間火山Ｂ軽石：1108年降下)　Hr-FA(榛名火山二ッ岳渋川テフラ：６世紀初頭降下)
9　図版の（方位）は遺構に対する撮影位置を表す。

目　　次

巻頭図版
はじめに
例言・凡例
目次・挿図目次・表目次・図版目次
Ⅰ　調査に至る経緯…… 1
Ⅱ　遺跡の歴史的環境 …… 2
Ⅲ　遺跡の地理的環境と基本層序 …… 4
　1　遺跡の地理的環境…… 4
　2　基本層序…… 4
Ⅳ　調査の方針と経過 …… 5
　1　調査の方針…… 5
　2　調査の経過…… 5
Ⅴ　検出された遺構と遺物 …… 6
　1　竪穴住居跡…… 6
　2　溝跡…… 8
　3　土坑…… 8
Ⅵ　総括 …… 9
挿図・遺物観察表・図版・抄録

挿　図　目　次

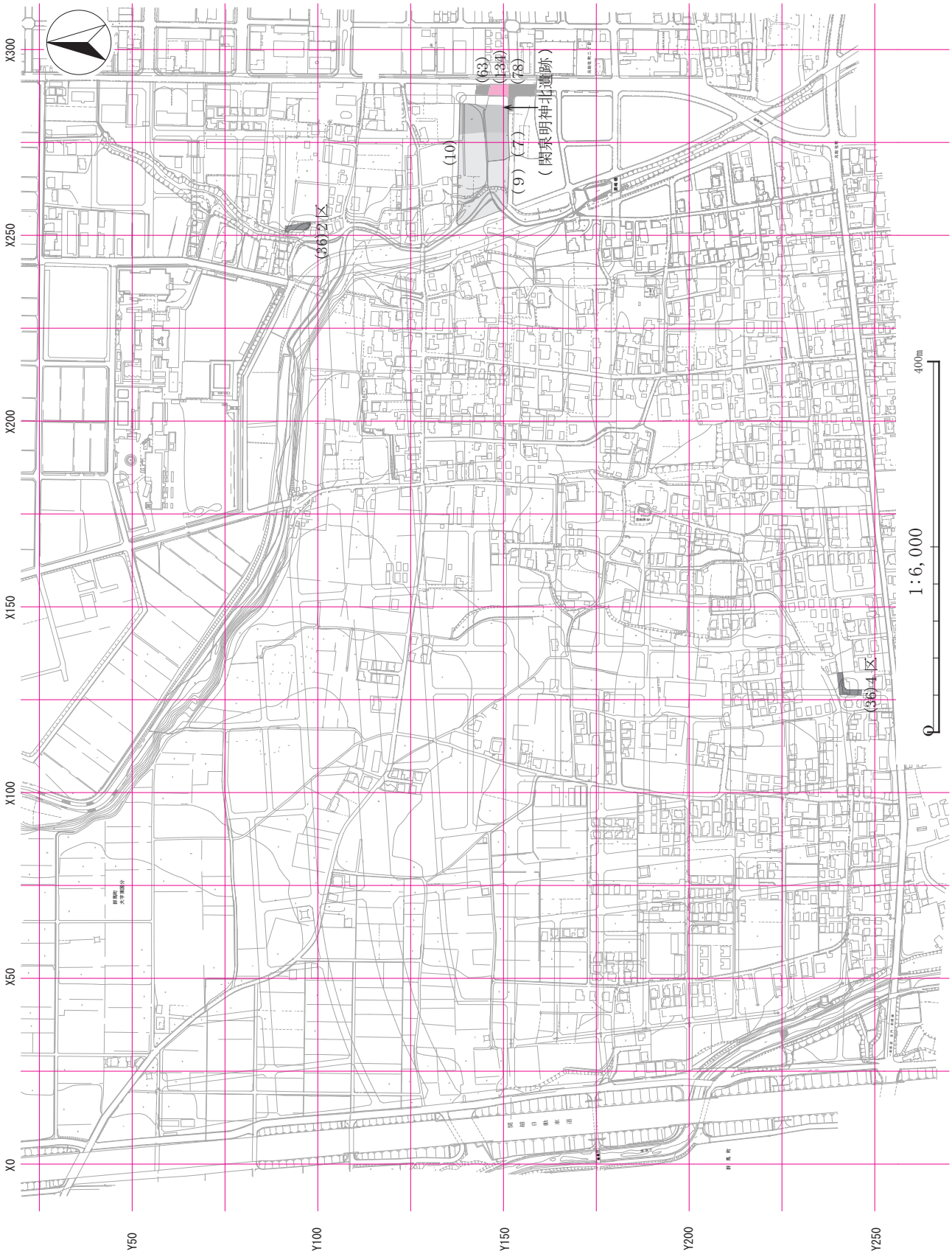
第１図　元総社蒼海遺跡群調査区位置図・グリッド設定図…… iii
第２図　遺跡位置図…… 1
第３図　周辺遺跡図…… 3
第４図　基本層序模式図…… 4
第５図　元総社蒼海遺跡群周辺地層断面図…… 4
第６図　元総社蒼海遺跡群（134）全体図…… 10
第７図　Ｈ－１・２遺構図 …… 11
第８図　Ｈ－３(1)・５、Ｄ－１遺構図…… 12
第９図　Ｈ－３(2)・４・５・14遺構図 …… 13
第10図　Ｈ－６(1)・８(1)・12(1)、Ｄ－５遺構図…… 14
第11図　Ｈ－６(2)・８(2)・10(1)・11(1)・12(2) 遺構図 …… 15
第12図　Ｈ－６(3)・８(3)・12(3) 遺構図 …… 16
第13図　Ｈ-10(2)、Ｄ－２遺構図…… 17
第14図　Ｈ－７・９(1)・11(2)・12(4)・13(1)、Ｄ－４(1) 遺構図 … 18
第15図　Ｈ－９(2)・11(3)・13(2)、Ｄ－４(2) 遺構図 …… 19
第16図　Ｗ－１・２・３、Ｄ－３遺構図 …… 20
第17図　Ｈ－１・２・３・４・５・６(1) 遺物図 …… 21
第18図　Ｈ－６(2)・７・８遺物図 …… 22
第19図　Ｈ－９・10・11・13遺物図 …… 23
第20図　Ｗ－１遺物図 …… 24
第21図　Ｗ－２・３、Ｄ－５、調査区一括遺物図 …… 25

表　　目　　次

第１表　土坑計測表…… 8
第２表　Ｈ－１・２・３・４・５・６遺物観察表 …… 26
第３表　Ｈ－７・８・９・10・11・13遺物観察表 …… 27
第４表　Ｗ－１・２・３、Ｄ－５、調査区一括遺物観察表 …… 28

図　版　目　次

巻頭図版１　遺構：調査区全景
調査区全景（垂直・上が東）調査区全景（調査区東より浅間火山を俯瞰）
巻頭図版２　遺構・遺物：Ｗ－１
Ｗ－１全景(東)　Ｗ－１土層断面(東)　Ｗ－１出土遺物
図版１　遺構：Ｈ－１・２・３、Ｄ－１
Ｈ－１遺物出土状況(西)　Ｈ－１全景(西)
Ｈ－２全景(北)　Ｈ－３全景（西）
Ｈ－３掘り方全景（東）　Ｈ－３竈全景（南）
Ｈ－３竈掘り方全景（南）　Ｄ－１全景（西）
図版２　遺構：Ｈ－４・５・６・７・14、Ｄ－３
Ｈ－４・５・14全景（北）　Ｈ－４・５・14掘り方全景（北）
Ｈ－６全景（西）　Ｈ－６竈１全景（西）
Ｈ－６竈１掘り方全景（西）　Ｈ－６竈２全景（東）
Ｈ－７全景（北）　Ｄ－３全景(東)
図版３　遺構：Ｈ－８・９・10・11・12・13、Ｄ－２・４・５
Ｈ－８、Ｄ－５全景(東)　Ｈ－８竈全景（東）
Ｈ－９・13、Ｄ－４全景（北）　Ｈ-10遺物出土状況(南)
Ｈ-10・12全景(西)　Ｈ-11全景(南)
Ｈ-11竈全景（西）　Ｈ-11竈掘り方、Ｄ－２全景(西)
図版４　遺構：Ｗ－１・２・３
Ｗ－１硬化面全景(東)　Ｗ－１炭化物・焼土検出状況(北)
Ｗ－１硬化面土層断面（東）　Ｗ－１竈構築材採掘坑全景(南)
Ｗ－１全景(西)　Ｗ－１土層断面(西)
Ｗ－２全景(西)　Ｗ－３全景(南)
図版５　遺物：Ｈ－１・２・３・４・５・６・７
Ｈ－１出土遺物　Ｈ－２出土遺物
Ｈ－３・４・５出土遺物　Ｈ－６出土遺物
Ｈ－７出土遺物
図版６　遺物：Ｈ－８・９・10・11・13
Ｈ－８・10・11出土遺物　Ｈ－９出土遺物
Ｈ-13出土遺物
図版７　遺物：Ｗ－１・２・３、Ｄ－５、調査区一括
Ｗ－１出土遺物　Ｗ－２・３出土遺物
Ｄ－５出土遺物　調査区一括出土遺物



第１図　元総社蒼海遺跡群調査区位置図・グリッド設定図

Ⅰ　調査に至る経緯【第1・2図】

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、21 年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

令和元年５月７日付で前橋市長　山本　龍（区画整理課）（以下「前橋市」という。）より、埋蔵文化財発掘調査・整理業務に係る依頼が、前橋市教育委員会（以下「市教委」という。）に提出された。市教委では既に他の発掘調査を実施中のため、市教委直営による調査実施が困難であると判断し、民間調査組織へ発掘調査業務を委託することで合意に至った。業務実施にあたっては市教委の作成する調査仕様書に則り、市教委による監理・指導のもと発掘調査を実施することとなった。同年６月26日付で前橋市と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社との間で業務委託契約が締結され発掘調査に着手した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群(134)」（遺跡コード：1A241）の「元総社蒼海」は土地区画整理事業名を採用し、「(134)」は過年度に実施した発掘調査と区別するために付したものである。

第２図　遺跡位置図

Ⅱ　遺跡の歴史的環境【第３図】

旧石器時代　本調査区の地形形成期を含むため検出されていない。

縄文時代　地形形成の終わる前期以降、遺構・遺物が検出され始め、特に中期以降は、本遺跡群をはじめ周辺の遺跡から遺構や遺物の検出が増えるが、山麓部に比べれば希薄である。

弥生時代　中期には環濠集落である**清里庚申塚遺跡**（地図外）が形成され、後期には環濠集落である**日高遺跡**から方形周溝墓・水田跡など集落・墓・生産遺構がセットで検出された。

古墳時代　前期にはＳ字状口縁台付甕を伴う方形周溝墓などの遺構が本遺跡群でもみられるようになる。中期後半の５世紀後半には**遠見山古墳**が築造され総社古墳群の形成が始まる。後期の６世紀初頭には**王山古墳**が後円部の表面を川原石で厚く小口積した導入期の横穴式石室墳であり、６世紀後半築造の**総社二子山古墳**は明治初期に豊城入彦墓として墓丁が置かれたことがある。終末期の７世紀になると、凝灰岩製家形石棺を有する**愛宕山古墳**や家形石棺を有した副室構造の截石切組積石室を構築する**宝塔山古墳**、截石切組積石室墳の**蛇穴山古墳**が築造され、江戸時代の吉田芝渓『上毛上野古墓記』や奈佐勝皐『山吹日記』、中世の『神道集』の記述により古くから注目されていたことが窺える。

集落は５世紀後半以降に本遺跡群をはじめ**大屋敷遺跡・鳥羽遺跡**など近隣の遺跡に見られるようになる。

古代　寺院では７世紀代に法起寺式伽藍配置の**山王廃寺**が建立され、出土瓦銘と『上野国交替実録帳』の定額寺や山上碑文中の「放光寺」が同一寺院と考えられ、石造物と截石切組積石室の加工技術に類似性が指摘される。奈良時代に国分寺建立の詔が出されると**上野国分僧寺・上野国分尼寺**が建立された。**妙見寺**は10世紀中頃の様子を伝えるとされる『僧妙達蘇生注記』に登場し、『上野国交替実録帳』に記された「息災寺」のこととともいわれる。神社では国司が奉幣する神を合祀した**上野国総社神社**が平安時代中頃以降に創祀され、その元宮とされる**宮鍋神社**が近くにあるが、下野・武蔵の国府跡近くにも名称の似た神社がある。

現状の地割や『和名類聚抄』の記述等から本地域に**上野国府**が推測され、前橋市教育委員会の確認調査や元総社蒼海遺跡群の調査で官衙的遺構や遺物が検出され解明されつつある。

災害では818年に弘仁地震が発生し遺跡から地割れの痕跡が発見されることがある。840・843年には全国的な飢饉が起こり、938年には平将門が上野国府を占領したとされ国府の衰退が推測される。

８世紀前半までの東山道駅路は南の牛堀・矢ノ原ルート（地図外）であり、本地域へ連絡する**日高道**も想定されているが、８世紀後半には**東山道駅路国府ルート**と呼ばれるルートに替わる。

本地域周辺以南には条里制の地割がみられ、**日高遺跡**など多くの遺跡からAs-B軽石に覆われた条里制水田遺構が検出され、微高地では集落遺構も調査されている。

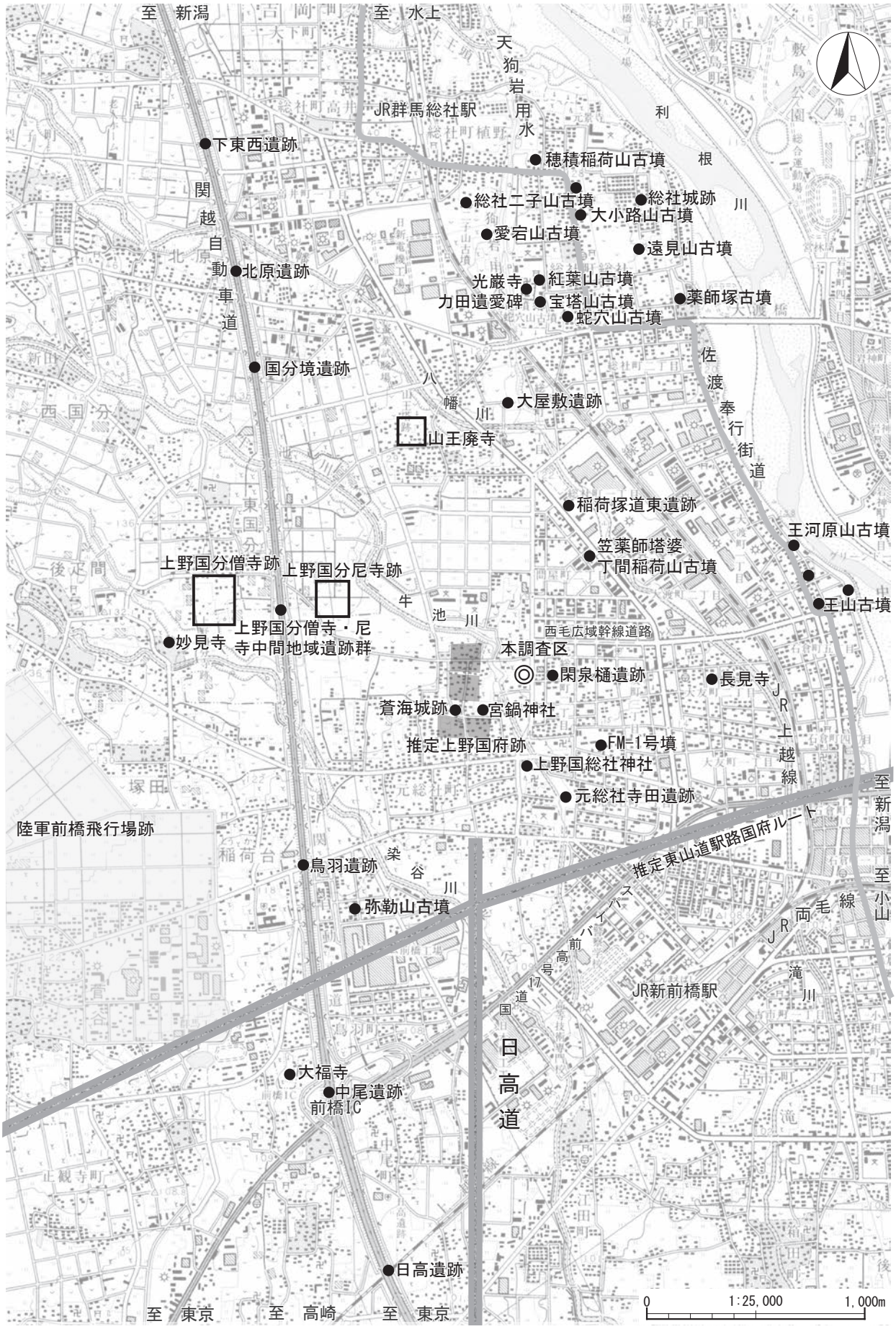
中世　総社長尾氏は列郭式縄張の**蒼海城**を拠点とする関東管領山内上杉氏の家宰であるが、山内上杉氏を裏切ったことから1527年厩橋長野方斎に攻められ、川越合戦の後に上杉氏が越後へ落ちると後北条氏の河西衆となった。その後、武田信玄が落城祈願の願文を諏訪大社へ奉納して攻めかかり蒼海城は落城した。

信仰では丁間稲荷神社に古代末から中世初めの古い**笠薬師塔婆**という石造物が移設されている。**大福寺**には応永25年銘の赤城塔と呼ばれる地域的な宝塔がある。**長見寺**は江戸時代に本山派修験の正年行事職を務めたが、中世に総社長尾氏の大友館を時宗寺院としたもので、境内長尾家墓地に応永25年の在銘五輪塔がある。

近世以降　武田氏の後、諏訪氏が支配した。関ヶ原役の後に秋元氏が**総社城**を居城として治め、**天狗岩用水**を開削して新田を開発させたので、後に領民は**力田遺愛碑**という顕彰碑を秋元氏の菩提寺である**光厳寺**に建てた。

交通では**佐渡奉行街道**が中世に起源のある三国道のひとつで総社城下には総社宿があった。

近代には太平洋戦争末期の**陸軍前橋飛行場**が本地域に建設され現在も地割に痕跡が残っている。


至 新潟
至 水上
天狗岩用水
JR群馬総社駅
利根川
下東西遺跡
穂積稲荷山古墳
総社二子山古墳
総社城跡
大小路山古墳
愛宕山古墳
遠見山古墳
関越自動車道
北原遺跡
光厳寺
紅葉山古墳
力田遺愛碑
宝塔山古墳
薬師塚古墳
蛇穴山古墳
佐渡奉行街道
国分境遺跡
八幡川
大屋敷遺跡
山王廃寺
稲荷塚道東遺跡
王河原山古墳
笠薬師塔婆
丁間稲荷山古墳
上野国分僧寺跡
上野国分尼寺跡
王山古墳
牛池川
上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡群
妙見寺
西毛広域幹線道路
本調査区
閑泉樋遺跡
長見寺
蒼海城跡
宮鍋神社
JR上越線
推定上野国府跡
FM-1号墳
上野国総社神社
元総社寺田遺跡
至新潟
陸軍前橋飛行場跡
推定東山道駅路国府ルート
鳥羽遺跡
染谷川
弥勒山古墳
至小山
両毛線
JR
前橋バイパス
国道17号
JR新前橋駅
滝川
日高道
大福寺
中尾遺跡
前橋IC
日高遺跡
至 東京
至 高崎
至 東京
0
1:25,000
1,000m

第３図　周辺遺跡図

Ⅲ　遺跡の地理的環境と基本層序

1　遺跡の地理的環境【巻頭図版1　第１・２・３・４・５図】

本遺跡群が所在する前橋市総社町・元総社町地区は南に御荷鉾山や関東山地の山々、西に県境の浅間火山や妙義山・荒船山、北西に榛名火山、北の小野子山・子持山から北東の赤城火山その奥に武尊山や上越国境の山まで望め、東は広大な関東平野へと続く。

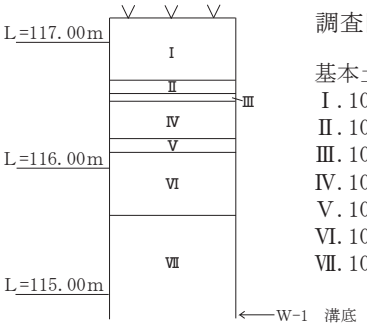
本地域の東を利根川が南流するが、2万5千年以上前には本地域も河川の一部であったらしく前橋砂礫層と呼ばれる礫層が厚く堆積する。この層上には2万4千年前頃の浅間火山黒斑山崩壊に伴う前橋泥流層が分布しており、その地域を前橋・高崎・伊勢崎台地と呼んでいる。前橋泥流層の上には再び流路となったようで元利根川砂礫層がある。榛名火山相馬山は2万年前頃に山体崩壊を起し陣場岩なだれ堆積物が相馬ヶ原扇状地を形成し、その扇端に押されて利根川流路は赤城山南西麓方向へ瀬替した。本地域はこの前橋台地が相馬ヶ原扇状地扇端と接する位置にある。この後、縄文時代前期頃までは総社砂層と呼ばれる地層を形成する時期に当たり、凝灰岩質の地層も存在する。その後も浅間火山仏岩・前掛山・釜山や榛名火山二ッ岳（オンマ谷）の噴火による降灰・土石流等が本地域に影響を与えている。

利根川は、中世まで広瀬川流路を流れて広瀬川低地帯を形成し、中世末の洪水が小河川の流路を奪って流れ込み、現流路になったと考えられている。現在の前橋市は赤城火山山頂部から関東平野の西端部となる前橋台地にかけて位置し、本地域は前橋台地にあるが中心市街地とは利根川によって分かれている。

本地域には北から八幡川・牛池川・染谷川が南東流し台地を分断して利根川や井野川へ合流する。本遺跡群はこのうちの牛池川左岸に位置するが、現流路は河川改修により蛇行の解消や護岸がなされている。

現在の本遺跡群周辺の環境は、鉄道ではＪＲ上越線・吾妻線が東に、両毛線が南東にある。道路では関越自動車道が西に、前橋ICが南に位置し、国道17号高前バイパスが接続し、また西毛広域幹線道路が本遺跡群を東西に貫く。このように交通網が整備され商工業・宅地の開発が著しく県庁からは約２km西に位置する。

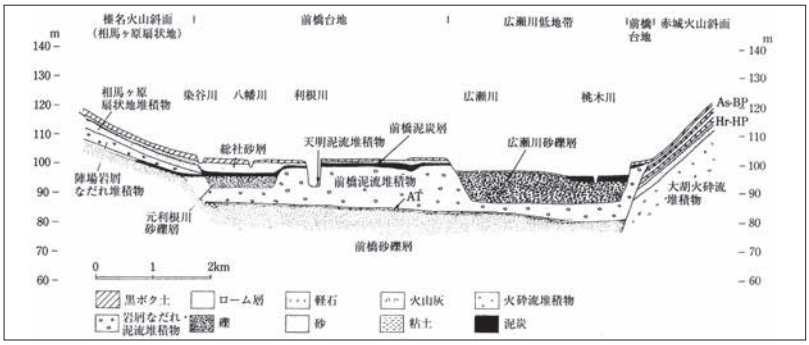
２　基本層序【第４・５図】



調査区西側の壁土層を模式的に示した。

基本土層断面
Ⅰ.10YR6/3 にぶい黄褐　粘性なし　締まりなし　盛土
Ⅱ.10YR5/4 黄褐　粘性なし　締まりあり　As-B軽石を多く含む
Ⅲ.10YR5/1 褐灰　粘性なし　締まりあり　As-B軽石純層
Ⅳ.10YR6/2 灰黄褐　粘性なし　締まりあり　砂粒多く含む
Ⅴ.10YR4/4 褐　粘性なし　締まりあり　ローム多く含む漸移層
Ⅵ.10YR6/6 明黄褐　粘性なし　締まりあり　ローム層
Ⅶ.10YR6/1 褐灰　粘性なし　締まりあり　総社砂層

第４図　基本層序模式図



原図早川由紀夫「前橋台地の模式的断面図」『群馬県史』通史編１原始古代　1990
群馬県立自然史博物館「前橋台地の模式的断面」『利根川の旅』2018のP11引用

第５図　元総社蒼海遺跡群周辺地層断面図

Ⅳ　調査の方針と経過

１　調査の方針【第１・６図】

本調査区の調査面積は259.0㎡である。調査区の設定については、グリッド座標は国家座標（日本測系）Ｘ＝44,000・Ｙ＝-72,200を基点（Ｘ０・Ｙ０）とする4ｍピッチの元総社蒼海遺跡群グリッドを使用し、本調査区では、西から東へＸ287・288・289・290、北から南へＹ146・147・148・149・150・151と付番する。

調査方法は、北側の表土掘削・遺構確認、W-1掘削・調査、南側の表土掘削・遺構確認、W-1北・南の遺構精査、写真撮影、測量を順に行う。

遺構平面図はトータルステーション測量で、竪穴住居跡・土坑は1/20、竪穴住居跡竈は1/10、溝跡は1/40、全体図は1/100、遺構断面図は人力計測で竪穴住居跡竈は1/10それ以外は1/20で作成する。遺物分布図に記録の遺物は点上げ、遺構確認時の一括遺物は、W-1確認以前は調査区一括、W-1確認以後は大溝北・南一括で分けて収納する。写真記録は35㎜モノクロ・35㎜リバーサル・デジタルカメラの３種類で行う。

２　調査の経過【第１・６図】

令和元年7月16日までに資器材搬入や除草作業等、掘削前の準備作業を行った。

7月16日に重機(0.25㎥）による表土掘削を調査区東北隅から発掘担当者立会のもと開始した。遺構確認面を探りながら掘削したが調査区北側は撹乱が激しくローム面まで下げざるを得なかった。調査区東辺を１ｍ幅で掘削したところ、W-1の南側ではAs-Bの混入土層が残存していたため、調査区の南西側でW-1以南はこの層の上面で遺構を確認しつつ掘削することにした。

排土置場として調査区南隣の[元総社蒼海遺跡群(78）の既調査区域]が指定されたため、表土は北側から掘削しキャリーダンプで運搬した。

調査区北西隅は浄化槽の埋設・撤去で深く撹乱されていたが、撹乱土を除去し遺構の有無を確認した。

調査区北辺に想定されていた元総社蒼海遺跡群(63）で検出のW-1南端が検出されないため、調査区北西隅を重機のバケット幅で１ｍ北へ拡張してローム層まで掘削したが確認できなかった。

W-1以北の表土掘削を終了後、遺構確認を行い、出土した一括遺物はW-1北と注記した。

次に重機によりW-1の表土・覆土の掘削に入った。W-1は東・西の断面の掘削深度が2ｍを超えると予想されたため段掘りすることにより調査区壁崩落防止の安全対策を行ったが、これにより断面図は不連続となった。W-1を重機で掘削途中に硬化した面や焼土・炭化物がほぼ水平に堆積する面が確認されたためこれを平面的に確認するようにし、確認後は記録をして掘り下げた。W-1は掘削と同時に調査を行い、完了後は防災上の観点から安全な深さまで埋め戻すこととし、竪穴住居跡掘削の排土で埋めたため、空撮時はW-1が半分埋まった状態の写真となった。なおW-1調査時の一括遺物は上層部と下層部で分け、W-1上・W-1下と注記した。

この後W-1南側の表土掘削後、遺構確認を行い出土した一括遺物はW-1南と注記した。並行してW-1北側の竪穴住居跡を調査し進捗した段階でW-1南側のW-2・3の調査をした。

このW-2・3は調査後、サブトレンチに転用して重複竪穴住居跡の確認を行い、W-1南側の遺構を順次調査した。

9月24日空撮を行い、すべての調査を終了させ、9月25日発掘担当者立会のもと完了確認を行った。

同日より埋め戻し作業を行い、作業に際しては重機で厚さ30㎝毎に整地・転圧した後、ローラーやランマーで転圧した。9月28日資器材撤収を行い作業を完了した。

整理は10・11月は遺物洗浄・注記・接合を行い、10・11月は担当が他業務で不在のため12月より遺構図作成、整合、遺物実測・トレースを行い、続いて原稿・表・図版・写真図版作成を行って令和２年2月26日印刷した。

Ⅴ　検出された遺構と遺物

１　竪穴住居跡

本調査区からは14軒の竪穴住居跡を検出した。W－１の北側で６軒、このうち５軒が古墳時代、１軒が平安時代の遺構である。南側では８軒、このうち６軒が古墳時代、２軒が平安時代の遺構である。

平安時代の竪穴住居跡はW－１と重複し、埋没後に構築されたものである。

H-1【巻頭図版1　第6・7・17図　第2表　図版1・5】
位置　X288～290、Y146・147　**主軸方向**　N-55°-E　**規模**　東西6.37m×南北(3.97)m×壁高（25.5）cm。　**形状**　方形　**床面**　地山床（標高116.0m）　**面積**　(14.78)㎡　**重複**　検出範囲で重複しない。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　深さ７cm検出範囲では周溝がほぼ全周する。　**間仕切溝**　（5）本検出した。　**貯蔵穴**　長径（56.3）cm短径（45）cm深さ55cm。　**柱穴**　P1　長径40cm短径38cm深さ65cm、P2　長径29cm短径28cm深さ37cm。　**出土遺物**　土師器坏・埦・高坏・器台　**時期**　６世紀初頭　**備考**　元総社蒼海遺跡群（63）のH-19と同一遺構の可能性が高い。

H－２【巻頭図版1　第6・7・17図　第2表　図版1・5】
位置　X287・288、Y147・148　**主軸方向**　N-63°-E　**規模**　東西4.11m×南北（1.00）m×壁高（27.6）cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.2m）　**面積**　(6.30)㎡　**重複**　検出範囲で重複しない。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　検出していない。　**出土遺物**　土師器坏・埦・高坏　**時期**　６世紀前半　**備考**　覆土に焼土・炭化物を多量含む。

H－３【巻頭図版1　第6・8・9・17図　第2表　図版1・5】
位置　X288～290、Y147・148　**主軸方向**　N-60°-E　**規模**　東西6.80m×南北（3.60）m×壁高（36）cm。　**形状**　方形　**床面**　僅かに貼床（標高116.1m）　**面積**　(16.69)㎡　**重複**　H－５・W－１・D-1と重複しH－５・D-1＞W－１＞H-3の順に旧い。　**竈**　主軸方向　N－24°-W　規模　長さ152cm×幅115cm×焚口幅31cm×袖高（18）cm。　備考　袖の芯材に扁平な石材を使う。　**壁周溝**　深さ5cm周溝は東壁・北壁で一部検出した。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　長径71cm短径66cm深さ38cm。　**柱穴**　P1　径40cm深さ52cm、P2　長径53cm短径49cm深さ53cm、P3　長径32cm短径29cm深さ19cm。　**出土遺物**　土師器坏・甕　**時期**　６世紀前半　**備考**　覆土に焼土・炭化物を多量含む。

H－４【巻頭図版1　第6・6・9・17図　第2表　図版2・5】
位置　X289・290、Y147・148　**主軸方向**　N-58°-E　**規模**　東西(1.75)m×南北3.20m×壁高（16）cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.1m）　**面積**　(5.49)㎡　**重複**　H－５・H-14と重複しH－５＞H－４＞H-14 の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。**間仕切溝**　（１）本検出した。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　P1　長径42cm短径41cm深さ38cm。　**出土遺物**　土師器坏　**時期**　６世紀前半　**備考**　H-14は掘り方で検出した。

H－５【巻頭図版1　第6・8・9・17図　第2表　図版2・5】
位置　X289・290、Y147・148　**主軸方向**　N-57°-E　**規模**　東西（1.74）m×南北（2.78）m×壁高（3）cm。（掘り方）　**形状**　方形　**床面**　竈周辺は地山床、他は貼床と思われる。H－３の断面図にH－５掘り方と思われる土層がある。（標高116.3m）　**面積**　(2.41)㎡　**重複**　H－３・H－４・H-14・W－１と重複しH－５＞W－１＞H－３＞H-14 ＞H－４の順に旧い。　**竈**　検出していないが東南隅に残骸が見える。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　検出していない。　**出土遺物**　須恵器高台付埦・灰釉陶器高台付埦　**時期**　10世紀後半　**備考**　撹乱により床面が削られ掘り方部分を検出した。

H－６【巻頭図版1　第6・10・11・12・17・18図　第2表　図版2・5】
位置　X288・289、Y149～151　**主軸方向**　N-2°-W　**規模**　東西4.58m×南北（4.65）m×壁高（30）cm。　**形状**　不整方形　**床面**　貼床（標高116.0m）　**面積**　(19.98)㎡　**重複**　H－８・H-10・H-11・H-12・W－１・W－２・W－３と重複しW－２・W－３＞H-6＞W－１＞H-8＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**竈**　竈1　主軸方向　N-89°-E　規模　長さ181cm×幅94cm×焚口幅51cm×袖高（35）cm。　備考　袖の芯材に河床礫を立てて使う。竈2　主軸方向　N-100°-W　規模　長さ89cm×幅66cm×焚口幅18cm×袖高（28）cm。　備考　燃焼部には焼土が少ない。焚き口前に焼土・灰・炭化物の分布が認められた。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　P1　長径46cm短径43cm深さ29cm、P2　長径63cm短径59cm深さ26cm、P3　長径48cm短径43cm深さ36cm、P4　長径29cm短径27cm深さ11cm、P5　長径26cm短径22cm深さ12cm、P6　長径49cm短径46cm深さ23cm、P4・5はH-11の床で検出した。　**出土遺物**　土師器坏・高坏・甕・台付甕・羽釜、須恵器坏・平瓦・円筒埴輪・銅鋺　**時期**　10世紀後半　**備考**　銅鋺は破片で器厚が１mm未満、口唇はやや肥厚して内側に浅い沈線が巡る。県内の出土銅鋺は19遺跡中古墳が９例、山王廃寺と出土地不詳の２例を除いた７例が集落から出土している[(1)]とされ、集落出土の資料で破片が目立つなど類似した状況がある。古墳時代の土師器はH－８の遺物が混入と考えた。

（1）桜岡正信「畿内から東国への土器の移動」『新編　高崎市史』通史編１原始古代　2003

H－7【巻頭図版1　第6・14・18図　第3表　図版2・6】
位置　X287・288、Y151　**主軸方向**　N-37°-E　**規模**　東西（2.62）m×南北（1.95）m×壁高（20）cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.4m）　**面積**　(1.67)㎡　**重複**　検出範囲で重複しない。　**竈**　この調査では検出していない。　**壁周溝**　深さ3cm検出した範囲で周溝はほぼ全周する。　**間仕切溝**　（2）本検出した。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　検出していない。　**出土遺物**　土師器坏　**時期**　６世紀前半　**備考**　元総社蒼海遺跡群（78）のH－６が同一遺構で竈を検出している。覆土に焼土・炭化物が多量に分布する。

H－8【巻頭図版1　第6・10・11・12・18図　第3表　図版3・6】
位置　X288・289、Y150・151　**主軸方向**　N-36°-W　**規模**　東西（4.98）m×南北（5.17）m×壁高（29）cm。　**形状**　方形　**床面**　竈付近は地山床で他は貼床。（標高116.0m）　**面積**　[24.56]㎡　**重複**　H－６・H-10・H-11・H-12・W－２・W－３と重複しW－２・W－３＞H-6＞H-8＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**竈**　主軸方向　N-117°-W　規模　長さ113cm×幅72cm×焚口幅42cm×袖高（36）cm。　備考　焚き口の天井や袖に凝灰岩切石を使う。　**壁周溝**　深さ3cm周溝は西壁と北壁の西側で検出した。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　長径90cm短径67cm深さ65cm　**柱穴**　P1　長径62cm短径54cm深さ30cm、P2　長径36cm短径25cm深さ36cm、P3　長径42cm短径34cm深さ36cm、P4　長径36cm短径31cm深さ30cm、P5　長径30cm短径（23）cm深さ33cm、P6　長径33cm短径（24）cm深さ32cm、P7　長径[60]cm短径55cm深さ11cm、P8　長径38cm短径（26）cm深さ33cm 、P9　長径28cm短径27cm深さ25cm、D1　長径53cm短径41cm深さ45cm、P1～9はH-11の床で検出した。　**出土遺物**　土師器坏・甕、須恵器坏・高坏　**時期**　６世紀後半　**備考**　10世紀後半の遺物をH－６との境付近に検出したが、H－６の壁が完全に出ていなかったものと判断し、H－６の遺物と考えた。

H－9【巻頭図版1　第6・14・15・19図　第3表　図版3・6】
位置　X287・288、Y149・150　**主軸方向**　N-86°-E　**規模**　東西［2.30]m×南北（0.76）m×壁高49cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.0m）　**面積**　(1.66)㎡　**重複**　H-13・W－１・D-4と重複し＞H－９＞W－１＞D－４＞H-13 の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　深さ5cm南壁の一部に検出した。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。**柱穴**　検出していない。　**出土遺物**　土師器坏・甕、灰釉陶器高台付皿　**時期**　10世紀後半　**備考**　掘り方で出土遺物や貯蔵穴の主軸をもとにH-13と分離した。

H-10【巻頭図版1　第6・11・13・19図　第3表　図版3・6】
位置　X289・290、Y150・151　**主軸方向**　N-64°-E　**規模**　東西（4.95）m×南北（5.10）m×壁高（25）cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.0m）　**面積**　[30.2]㎡　**重複**　H－６・H－８・H-11・H-12・W－２・W－３と重複しW－２・W－３＞H-6＞H-8＞H-12 ＞H-11の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　P1　長径66cm短径61cm深さ52cm、P2　長径47cm短径（30）cm深さ24cm、P3　長径39cm短径（30）cm深さ24cm、P4　長径50cm短径48cm深さ23cm、P5　長径51cm短径[38]cm深さ32cm、P6　長径47cm短径38cm深さ44cm、P7　長径34cm短径29cm深さ34cm、P8　長径26cm短径26cm深さ24cm、P9　長径24cm短径24cm深さ14cm、P10　長径23cm短径23cm深さ30cm、P11　長径25cm短径23cm深さ28cm、P12　長径24cm短径19cm深さ7cm、P1～12はH-11の床で検出した。　**出土遺物**　土師器坏・甕、須恵器高坏　**時期**　６世紀前半　**備考**　H-12とほぼ重なり拡張した遺構と考える。

H-11【巻頭図版1　第6・11・14・15・19図　第3表　図版3・6】
位置　X288～290、Y149～151　**主軸方向**　N－56°-E　**規模**　東西7.36m×南北7.49m×壁高49cm。　**形状**　方形　**床面**　地山床（標高115.7m）　**面積**　(47.75)㎡　**重複**　H－６・H－８・H-10・H-12・W－１・W－２・W－３と重複しW－２・W－３＞H-6＞W－１＞H-8＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**竈**　主軸方向　N－52°-E　規模　長さ（104）cm×幅81cm×焚口幅46cm×袖高（20）cm。　備考　支脚に凝灰岩切石を使う。　**壁周溝**　深さ8cm周溝はほぼ全周する。　**間仕切溝**　14本検出した。　**貯蔵穴**　D1　長径81cm短径(57)cm深さ70cm、D2　長径73cm短径54cm深さ34cm、D3　長径81cm短径59cm深さ12cm、D4　長径75cm短径72cm深さ55cm。　**柱穴**　P1　長径40cm短径35cm深さ53cm、P2　長径32cm短径31cm深さ16cm、P3　長径6cm短径34cm深さ36cm、P4　長径35cm短径32cm深さ32cm、P5　長径54cm短径43cm深さ63cm、P6　長径34cm短径32cm深さ62cm、P7　長径32cm短径30cm深さ53cm、P8　長径46cm短径42cm深さ62cm。　**出土遺物**　土師器坏・高坏・甕・甑、須恵器坏・甕　**時期**　５世紀後半　**備考**　元総社蒼海遺跡群（78）のH-22と同一遺構と考える。

H-12【巻頭図版1　第6・10・11・12・14図　図版3】
位置　X289・290、Y150・151　**主軸方向**　N-63°-E　**規模**　東西（3.52）m×南北（2.85）m×壁高49cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高115.9m）　**面積**　[23.5]㎡　**重複**　H－６・H－８・H-10・H-11・W－２・W－３と重複しW－２・W－３＞H-6＞H-8＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　P1　長径37cm短径32cm深さ25cm、P2　長径37cm短径36cm深さ25cm、P3　長径33cm短径30cm深さ25cm、P1～3はH-11の床で検出した。　**出土遺物**　検出していない。　**時期**　不明（古墳時代か）　**備考**　H-10とほぼ重なり拡張された遺構と考える。

H-13【巻頭図版1　第6・14・15・19図　第3表　図版3・6】
位置　X287・288、Y149・150　**主軸方向**　N-53°-E　**規模**　東西（1.34）m×南北（0.67）m×壁高（22）cm。　**形状**　方形　**床面**　貼床（標高116.3m）　**面積**　(0.95)㎡　**重複**　H-９・W-１・D-４と重複しH-９＞W-１＞D-４＞H-13 の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　検出していない。　**貯蔵穴**　長径67cm短径62cm深さ122cm。　**柱穴**　検出していない。　**出土遺物**　検出していない。　**時期**　古墳時代　**備考**　H-９の掘り方で貯蔵穴の主軸や出土遺物をもとに分離した。
H-14【巻頭図版1　第6・9図　図版2】
位置　X289、Y146・147　**主軸方向**　N-47°-E　**規模**　東西（2.37）m×南北（2.68）m×壁高（14）cm。　**形状**　方形　**床面**　地山床（標高115.9m）　**面積**　(3.78)㎡　**重複**　H-４・H-５と重複しH-５＞H-４＞H-14の順に旧い。　**竈**　検出していない。　**壁周溝**　検出していない。　**間仕切溝**　（１）本検出した。　**貯蔵穴**　検出していない。　**柱穴**　P1 長径34cm短径32cm深さ（18）cm。　**出土遺物**　検出していない。　**時期**　古墳時代　**備考**　H-４の掘り方で検出した。

２　溝　跡

溝跡は３条を検出した。W-１は古代の大溝、W-２・３は中世の溝である。

W-１【巻頭図版1・2　第6・16・20図　第4表　図版4・7】
位置　X287～290、Y148～150　**主軸方向**　N-88°-E　**断面形状**　逆台形　**規模**　上幅7.5m×下幅3.1m×長さ（10.13）m×深さ234cm。　**重複**　H-３・H-５・H-６・H-９・H-11・H-13・W-３・D-４と重複しW-３＞H-５・H-６＞W-１＞D-４＞H-12 ＞H-10＞H-３＞H-11の順に旧い。　**出土遺物**　土師器坏・羽釜、須恵器坏、平瓦・丸瓦、円筒埴輪、鉄釘、緑釉陶器高台付埦、灰釉陶器高台付皿・高台付埦・耳付壺・長頸壺、羽口、鉄滓　**時期**　古代　**備考**　覆土最上部にAs-B軽石純層がある。覆土中に３箇所の硬化面がある層と３箇所の焼土・炭化物が分布する層が検出された。北壁東部には竈構築材採掘坑が検出された。
W-２【第6・16・21図　第4表　図版4・7】
位置　X287～290、Y150　**主軸方向**　N-87°-E　**断面形状**　「V」字形　**規模**　幅0.27m×長さ（10.08）m×深さ27cm。　**重複**　H-6・H-８・H-10・H-11・H-12・W-３・D-３と重複しW-２・W-３＞H-６・（D-３時期不明だがW-２より旧い。）＞H-８＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**出土遺物**　須恵器高坏、灰釉陶器高台付埦　**時期**　中世　**備考**　覆土はAs-B軽石を多量に混入する。
W-３【第6・16・21図　第4表　図版4・7】
位置　X288、Y149・150　**主軸方向**　N-1°-W　**断面形状**　箱堀形　**規模**　幅0.60m×長さ（3.28）m×深さ30cm。　**重複**　H-６・H-８・H-10・H-11・H-12・W-１・W-２と重複しW-２・W-３＞H-6＞W-１＞H-8＞H-12 ＞H-10＞H-11の順に旧い。　**出土遺物**　須恵器坏片　**時期**　中世　**備考**　覆土はAs-B軽石を多量に混入する。

３　土　坑【巻頭図版1　第6・8・10・13～16・21図　第1・4表　図版1～3・7】

土坑は５基を検出した。計測値等は、第１表にまとめた。

第１表　土坑計測表

土坑番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重　複	出土遺物	時　期	備考
D-1	X288,Y148	(141)	(66)	(54)	円筒形	H-3より新しい		不明	
D-2	X290,Y150	(77)	(45)	(18)	楕円形	単独		不明	
D-3	X287・288,Y150	(127)	(60)	(17)	円筒形	W-2より旧い		古代か	
D-4	X287,Y149・150	(60)	(44)	(22)	円形	H-13より新しい		不明	
D-5	X288,Y151	(103)	(63)	(19)	円形	H-8より新しい	キセル吸い口	近世か	墓壙か

遺構調査作業状況

調査区埋め戻し作業状況

Ⅵ 総括

W−１について【巻頭図版1・2　第1・3・6・16・20図　第4表　図版4・7】

W−１は調査前から検出されることが想定されていた古代の大溝である。調査を進めるのに際して留意したことを記して総括としたい。

開削時期は不明であるが重複するH−３・11・13が５世紀後半から６世紀後半までの遺構であり、これを切って構築していることから、少なくとも７世紀以降といえる。掘削作業は総社砂層の凝灰岩層まで掘り込んでおり、かなりの労力を要したと思われる。また、底面は水流の痕が見られず、水を通しやすい土層（凝灰岩質）を掘り込んでいることから流水や湛水の可能性は低いと思われる。

埋没時期についても不明であるが重複するH−５・６・９の時期が10世紀後半であることからその頃にはほぼ埋没していたとみられ、最上部にAs-B軽石純層があるため12世紀初頭には完全に埋没している。埋没がいつから始まったかについても遺構・遺物からは断定できないものの、覆土はロームブロックなどを含む類似した土層で、比較的短期間に埋没したようにみられた。

本地域に想定される推定上野国府跡は前橋市教育委員会による確認調査が進められ、その中で大溝の集成がなされており、それによればW−１は「区画溝Ａ」[(1)]とされた東西方向の直線に延びる溝跡の一部を構成する遺構であり、元総社蒼海遺跡群（７）・（９）、閑泉明神北遺跡（試掘）、閑泉樋遺跡で同一線上の溝跡が確認され、この内の閑泉明神北遺跡(試掘）と閑泉樋遺跡の間に位置する。閑泉樋遺跡の溝跡は近藤義雄・川原嘉久治氏の国府域想定案で北辺に当たる区画溝[(2)]とされている。これには国府の詳細がよくわからないままで方８町の国府域を限定することに対する意見もあるが[(3)]、東西方位の直線的な古代大溝跡で、規模が他国府跡の区画溝に比べて大きいことから、少なくとも何らかの官衙に関連する区画溝跡であると理解される。

前橋市教育委員会が昭和54年に表面採集調査をした結果、ほぼ方８町の方形に瓦が分布するとされ[(4)]本調査区付近も分布域になっていることや武蔵国府跡区画溝例を参考にすると、築地塀や大垣などの遮蔽施設、あるいは土橋・木橋杭跡・門跡などの施設に該当する遺構の痕跡が検出される可能性も考えていたが、W−１南側ではAs-B軽石層やAs-B軽石混入土層が確認され、その下には10世紀後半の遺構が重複していた。７世紀以降１０世紀後半までの遺構は確認できなかったが、存在しないのか、消滅したのかは不明である。W−１北側は撹乱が多かったが10世紀後半のH−５が重複しており南側と類似する。本調査区からも瓦を出土しているが、H−６覆土やW−１と遺構確認時に検出しており他所から持ち込んだものと考えられる。

W−１のAs-B軽石層下には硬化面が３箇所で検出できた。その内の1箇所は断面にローム混入土層と砂質土層を互層に数層重ね不定形な平面形状が見られた。道跡や竪穴住居跡などが考えられるが遺構の確定はできなかった。As-B軽石層の下で10世紀後半の竪穴住居跡より上にあることから、11世紀代の用途不明な硬化面遺構として理解した。

さらにW−１を掘り下げると焼土や炭化物が平面的に分布する層があり、重複しているH−６・９の床面標高値116.0mとほぼ同じ高さにあり、竪穴住居跡を構築した可能性もあるが床面や壁が検出できなかった。遺物は羽釜片・埴輪片・瓦片等を検出した。この層やH−６で検出した埴輪片はW−１の埋土に混入してきたという状況ではなく、H−６の床面近くやW−１に集中しているが転用目的は不明である[(5)]。

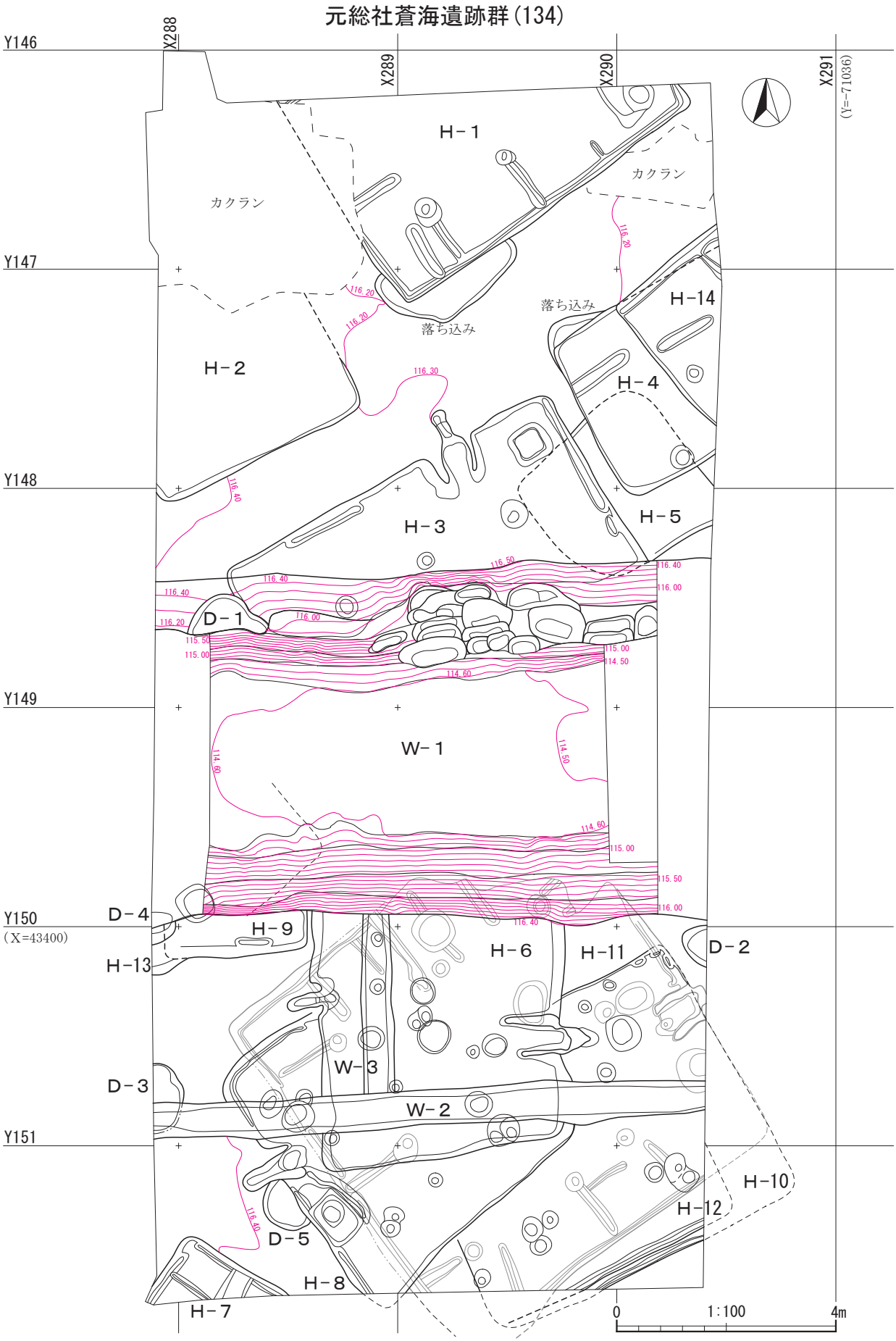
埴輪を持ち出しそうな可能性がある周辺の古墳をあげると元総社明神遺跡ⅡＦM−１号墳や丁間稲荷山古墳・王山古墳・王河原山古墳・遠見山古墳・総社二子山古墳・穂積稲荷山古墳・大小路山古墳・弥勒山古墳などがある。また、利根川対岸の前橋城北曲輪遺跡からは削平された古墳や埴輪を検出しており、未周知の古墳が近くに存在した可能性もあり、埴輪はこれら周知・未周知の古墳から持ち出したと考えられる。

W−１北壁東部から竈構築材の採掘坑とみられる遺構が検出された。元総社蒼海遺跡群（７）・（９）・(36)２・４区や鳥羽遺跡Ｌ・Ｍ・Ｏ区・稲荷塚道東遺跡・大屋敷遺跡Ⅲなど周辺遺跡でも検出されている遺構であり、稲荷塚道東遺跡・大屋敷遺跡Ⅲ・元総社蒼海遺跡群（７）・（９）・(36)４区と同じく溝壁を採掘しており、W−１北壁の一部を損壊しているが、掘削は浅く途中で放棄された可能性もある。

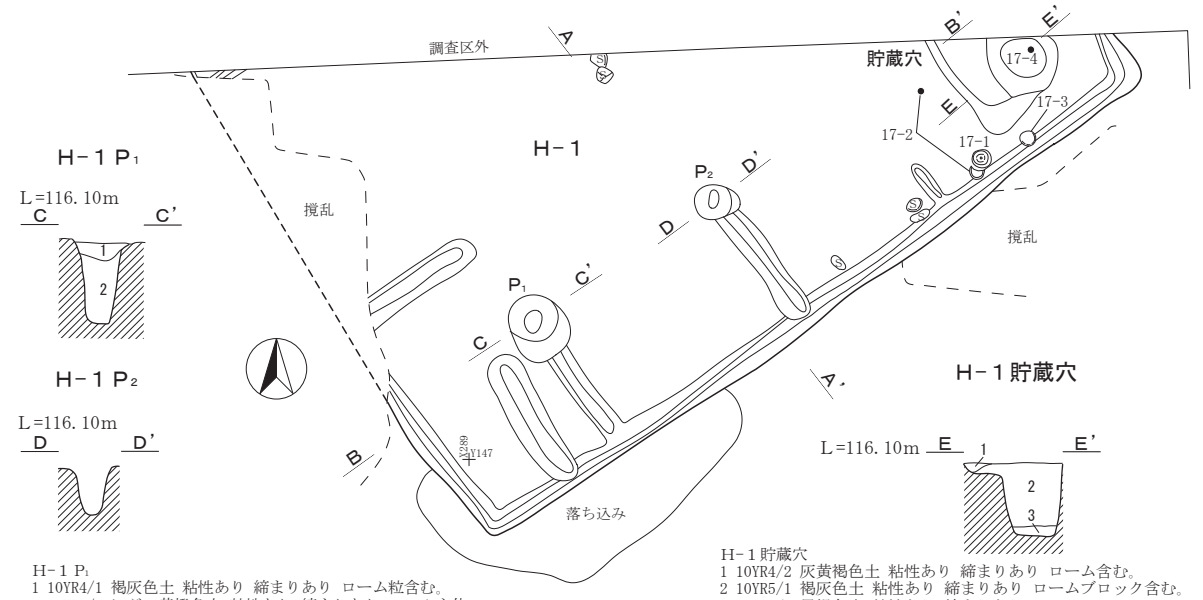
(1) 前橋市教育委員会「まとめ １成果について　(2) 元総社地内で検出される大溝（区画溝）について」『推定上野国府跡 』上野国府等範囲内容調査報告書Ⅲ 平成25年度調査報告 2015
(2) 木津博明「歴史的環境」『上野国分僧寺・尼寺中間地域(3)』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1988　「国府に地割はあったか　上野国」『幻の国府を掘る　東国の歩みから』雄山閣1999
(3) 石川克博「上野国府と郡衙」『群馬県史』通史編第２巻　原始古代２　1991
(4) 岸田治男「上野国府について」『元総社明神遺跡Ⅰ』前橋市教育委員会　1983
(5) 伊勢崎市下諏訪町遺跡5区1号住居の竈は円筒埴輪を竈構築材に転用していた。　スナガ環境測設株式会社『下諏訪町遺跡』2013

参考文献

群馬県『群馬県史』通史編 第２巻 原始古代２　1991
前橋市『前橋市史』第１巻　1971
高崎市『新編　高崎市史』 通史編１ 原始古代　2003
群馬町『群馬町誌』通史編 上 原始古代・中世・近世　2001
群馬県教育委員会『佐渡奉行街道』群馬県歴史の道調査報告書第７集　1993改訂新版
群馬県立自然史博物館　『利根川の旅』2018
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　『上野国分僧寺・尼寺中間地域(3)』1988
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　『鳥羽遺跡－L・M・N・O区－』1990
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　『元総社寺田遺跡Ⅲ』1992
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　『前橋城北曲輪遺跡』2002
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　『稲荷塚道東遺跡』2003
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　『元総社蒼海遺跡群（７）』2006
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　『元総社蒼海遺跡群（９）(10)』2007
前橋市教育委員会　『元総社蒼海遺跡群（36）』2011
前橋市教育委員会　『元総社蒼海遺跡群（62）(63)(64)』2016
前橋市教育委員会　『元総社蒼海遺跡群（74）～(80)・(92)～(94)』2017
前橋市教育委員会　『推定上野国府跡』平成23年度調査報告 2013
前橋市教育委員会　『推定上野国府跡』平成25年度調査報告 2015
前橋市教育委員会　『推定上野国府跡』平成26年度調査報告 2016
前橋市教育委員会　『推定上野国府跡』平成27年度調査報告 2017
前橋市教育委員会　『推定上野国府跡』平成28年度調査報告 2018
前橋市教育委員会　『元総社明神遺跡Ⅰ』1983
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　『元総社明神遺跡Ⅱ』1984
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　『元総社明神遺跡Ⅶ』1990
前橋市埋蔵文化財発掘調査団　『大屋敷遺跡Ⅲ』1995
高崎市教育委員会　『史跡　日高遺跡』2010
府中市郷土の森博物館　『よみがえる古代武蔵国府』2016
阿部義平　「国府と郡衙」『古代を考える　宮都発掘』吉川弘文館1987
寺村光晴他『幻の国府を掘る　東国の歩みから』雄山閣1999
中村岳彦　「“推定上野国府”周辺の古代景観-元総社蒼海遺跡群の溝と道-」『群馬文化』 第332号　2018
日置剛史　「群馬県前橋市元総社地域における地形の形成と土地利用」『地域考古学』第1号　2016
藤岡謙二郎『国府』吉川弘文館1969
森　隆　「近江系緑釉陶器の編年と器形系譜に関する若干の試論」『考古学雑誌』第76巻４号　1991

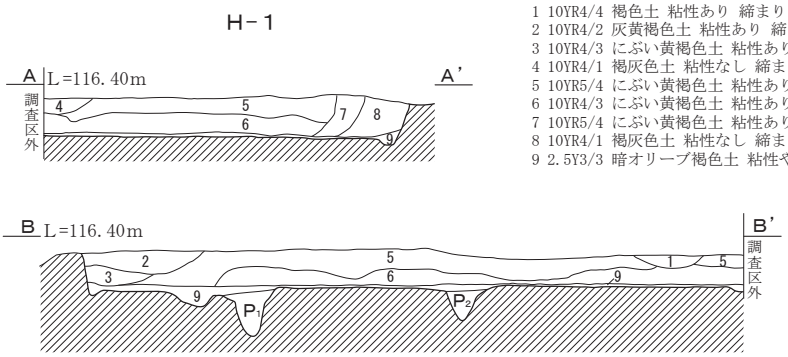


第６図　元総社蒼海遺跡群（134）全体図

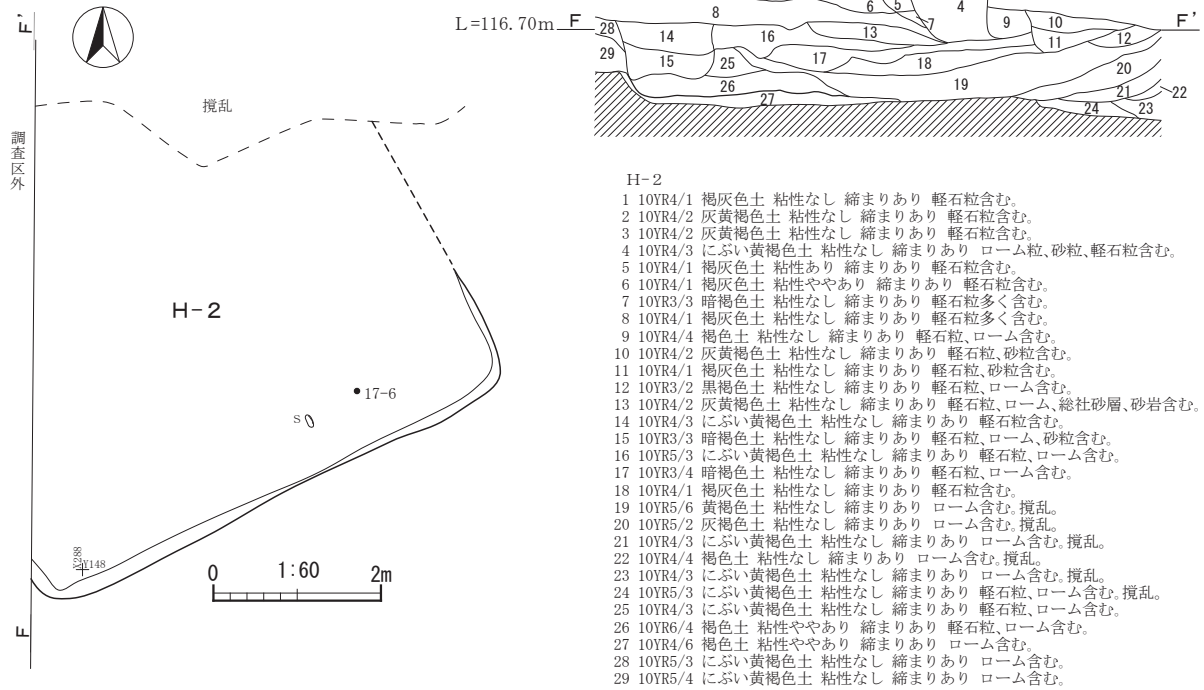


H－1 P1
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム粒含む。
2 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム主体。

H－1貯蔵穴
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
2 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
3 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり。

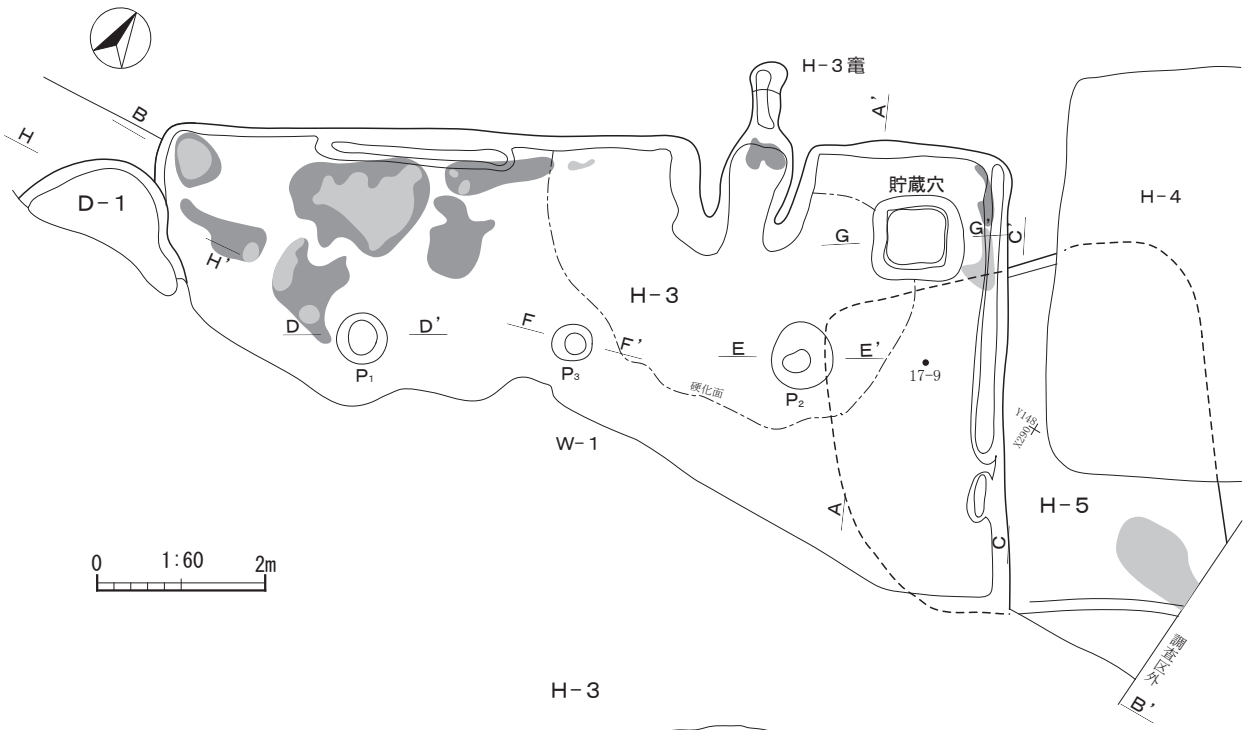


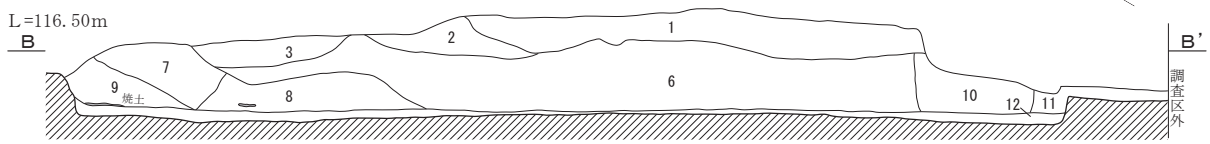
H－1
1 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒、炭化物含む。
3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒、炭化物、焼土含む。
4 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック、砂粒含む。
5 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒含む。
6 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒、炭化物含む。
7 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
8 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック、砂粒含む。
9 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土 粘性ややあり 締まりあり ロームブロック、砂粒含む。

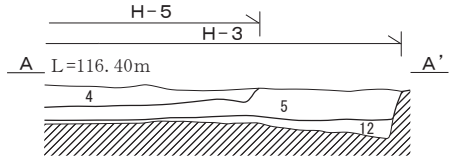


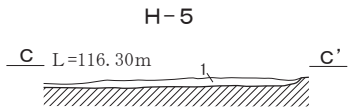
H－2
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
4 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム粒、砂粒、軽石粒含む。
5 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒含む。
6 10YR4/1 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒含む。
7 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒多く含む。
8 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒多く含む。
9 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
10 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
11 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
12 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
13 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム、総社砂層、砂岩含む。
14 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
15 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム、砂粒含む。
16 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
17 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
18 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
19 10YR5/6 黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。撹乱。
20 10YR5/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。撹乱。
21 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。撹乱。
22 10YR4/4 褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。撹乱。
23 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。撹乱。
24 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。撹乱。
25 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
26 10YR6/4 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
27 10YR4/6 褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム含む。
28 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。
29 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

第７図　Ｈ－１・２遺構図



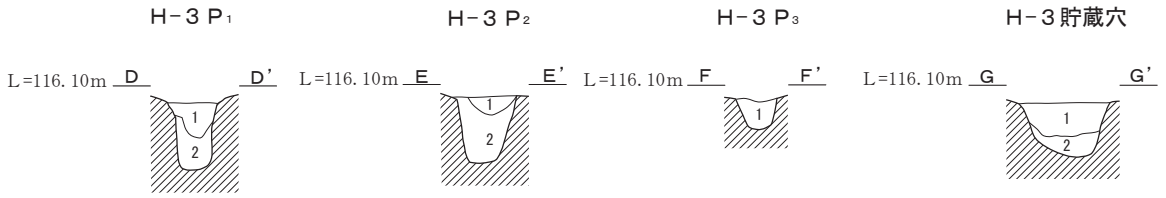






H-3・5(A-A'・B-B')
1 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
2 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ローム粒含む。
4 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、ローム粒、灰含む。
5 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、ロームブロック含む。
6 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、ロームブロック含む。
7 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
8 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
9 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、ローム含む。
10 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ローム粒含む。
11 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
12 7.5YR3/1 黒褐色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック含む。

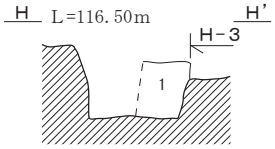
H-5
1 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ローム含む。



H-3 P1・P2
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック多く含む。
2 10YR7/4 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム主体。

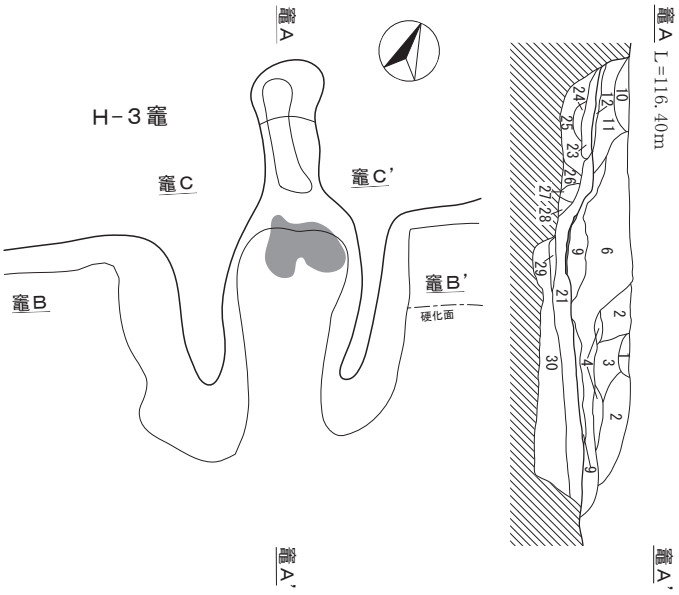
H-3 P3
1 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

H-3貯蔵穴
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック多く含む。
2 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム主体。

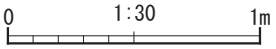


D-1
1 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ロームブロック含む。

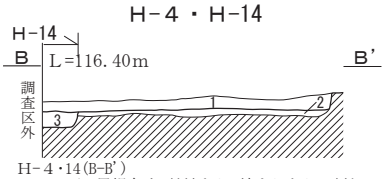
第８図　Ｈ－３(1)・５、Ｄ－１遺構図



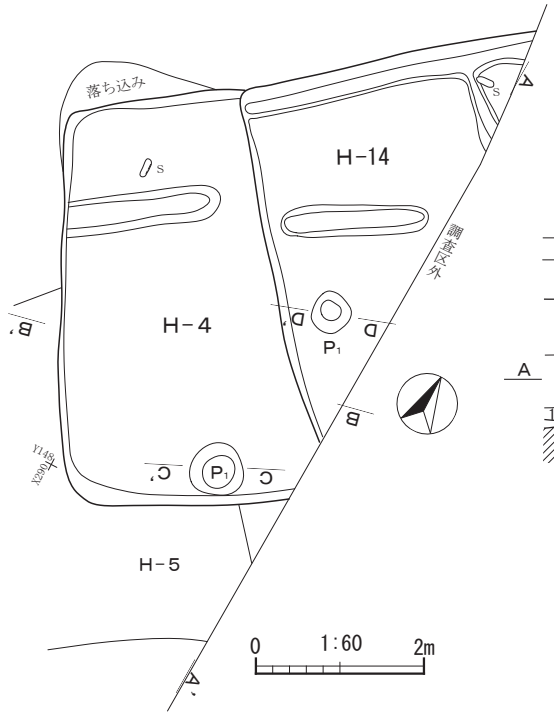
H－3竈
1 10YR7/1 灰白色土 粘性あり 締まりあり 灰多量に含む。
2 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 灰含む。
3 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 灰ブロック、ローム粒含む。
4 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 灰ブロック、ローム粒含む。
5 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰ブロック、ローム粒含む。
6 10YR6/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰ブロック、焼土含む。
7 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰ブロック、ローム粒含む。
8 10YR6/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰ブロック、焼土含む。
9 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰ブロック、炭化物含む。
10 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 灰ブロック含む。
11 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム、灰、炭化物含む。
12 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
13 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
14 7.5YR5/3 にぶい褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土含む。
15 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 粘土。
16 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
17 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
18 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒ローム含む。
19 10YR3/4 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む
20 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰、炭化物含む。
21 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
22 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
23 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
24 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
25 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、ローム含む。
26 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
27 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
28 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、灰、焼土含む。
29 10YR7/3 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
30 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。



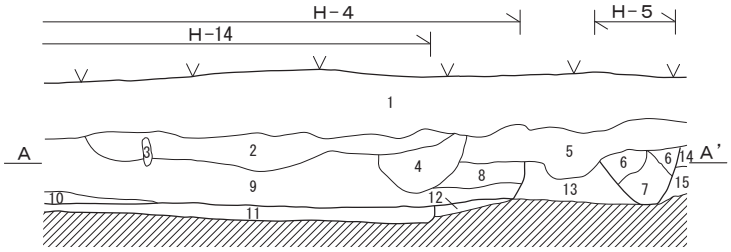
H－4・H－14



H－4・14(B-B')
1 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 砂粒、ローム含む。
2 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
3 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ロームブロック含む。

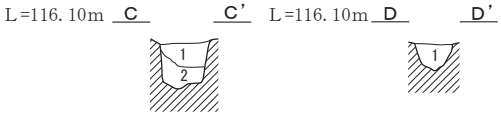


H－4・H－14・H－5



H－4・5・14(A-A')
1 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 小礫含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム主体。
4 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
5 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
6 7.5YR5/3 にぶい褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム、焼土、炭化物含む。
7 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム、焼土、炭化物含む。
8 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ローム、軽石粒含む。
9 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
10 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム粒含む。
11 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
12 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
13 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム。
14 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム。
15 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ロームブロック含む。

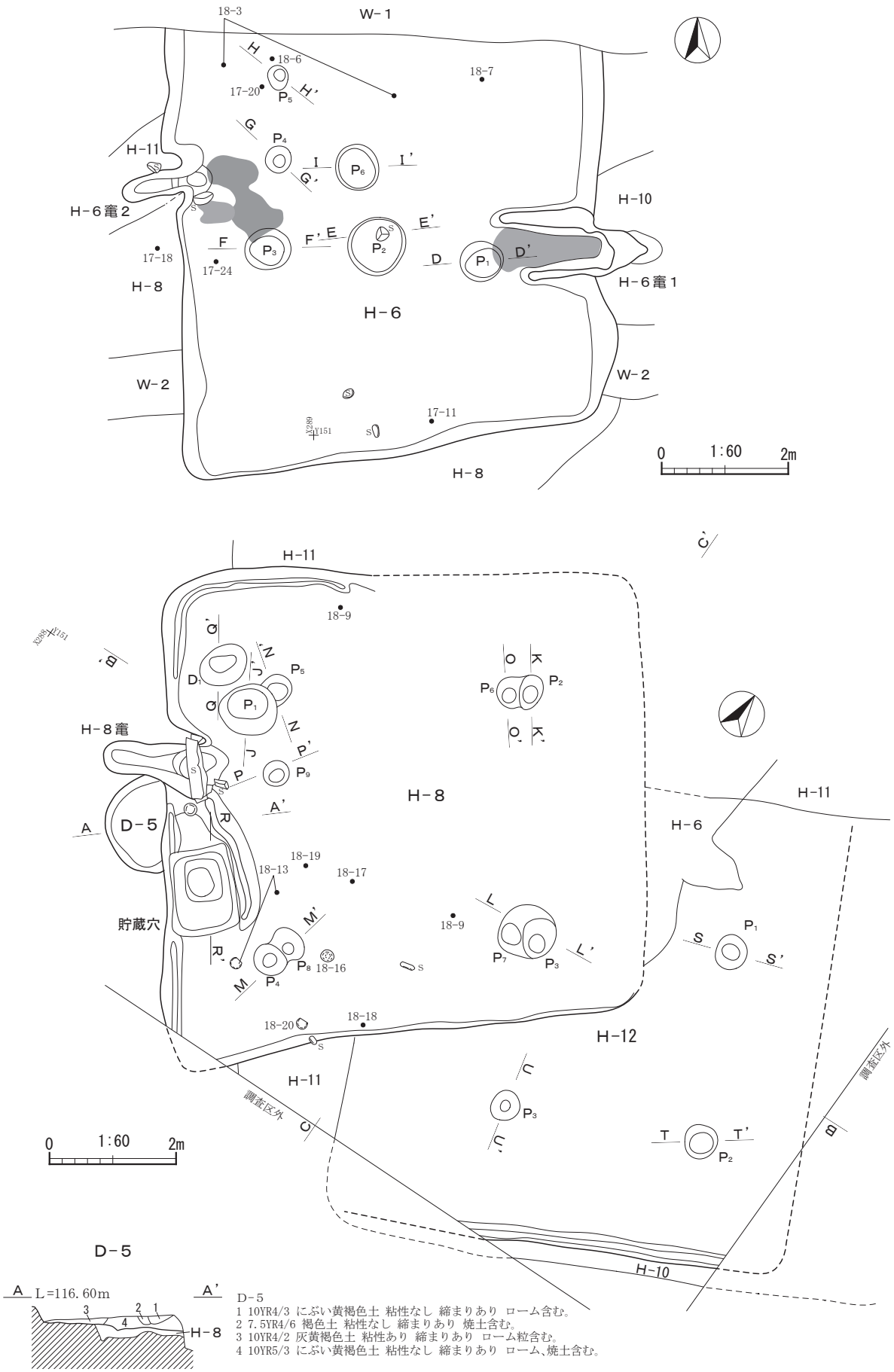
H－4 P1　　H－14 P1



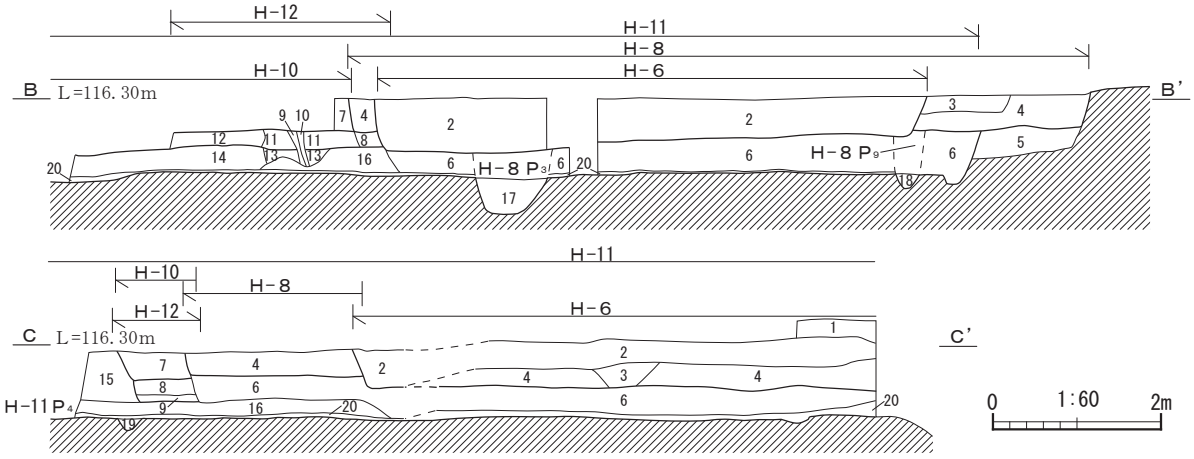
H－4 P1
1 2.5Y4/1 黄灰色土 粘性ややあり 締まりあり ローム軽石粒含む。
2 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H－14 P1
1 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒含む。

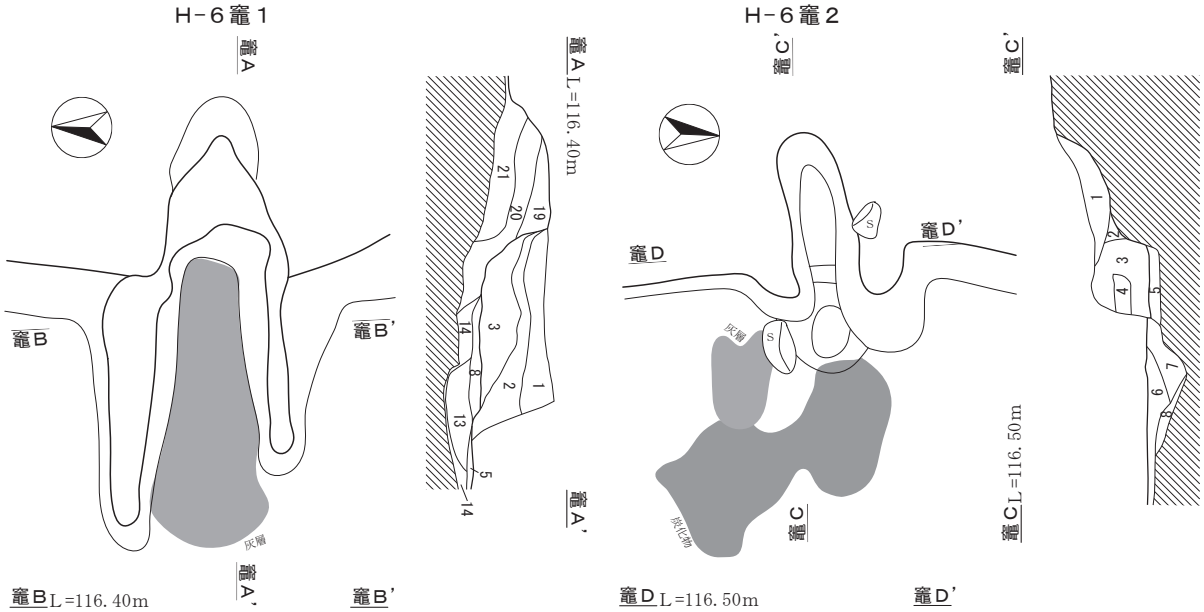
第９図　Ｈ－３(2)・４・５・14遺構図



第10図　H－6(1)・8(1)・12(1)、D－5遺構図



H-8(B-B'、C-C')<H-6・10・11・12のセクションを含む。>
1 7.5YR3/1 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム粒含む。
2 10YR3/2 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、ローム粒、炭化物含む。
3 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり。
4 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり。
5 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性ややあり 締まりあり ローム含む。
6 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
7 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック含む。
8 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック、砂粒含む。
9 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり。
10 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
11 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック含む。
12 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームを多く含む。
13 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームを多く含む。
14 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム、総社砂層、砂岩多く含む。
15 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム含む。
16 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
17 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
18 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
19 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、砂岩含む。
20 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム、砂粒含む。

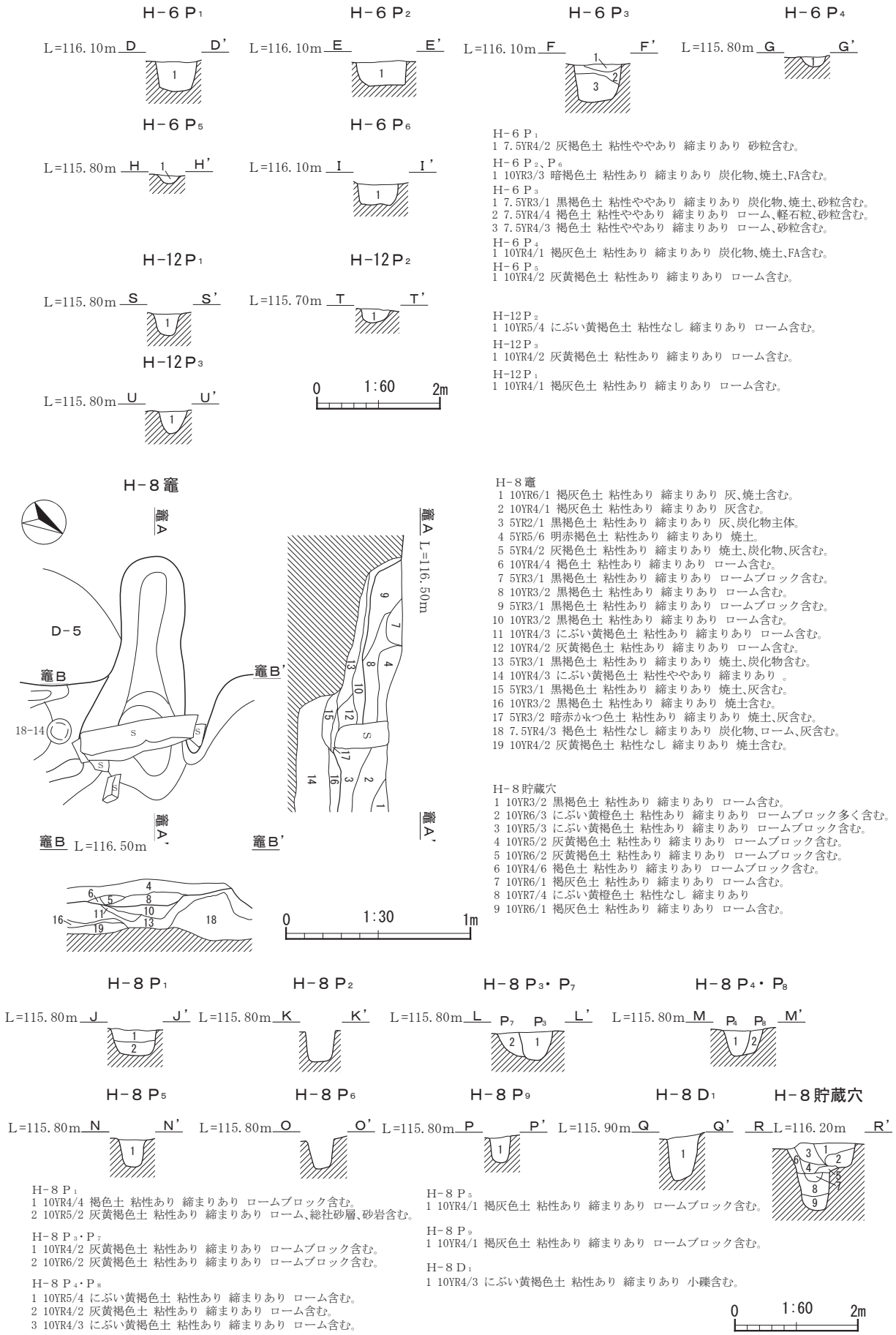


H-6竈1
1 5YR4/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、焼土、ローム含む。
2 5YR5/2 灰褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、焼土、ローム含む。
3 5YR4/3 にぶい赤褐色土 粘性ややあり 締まりあり 粘土、焼土、ローム含む。
4 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 砂粒含む。
5 2.5YR5/2 灰赤色土 粘性ややあり 締まりあり 焼土、灰含む。
6 5YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり。
7 5YR4/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
8 7.5YR2/3 極暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 焼土、炭化物、灰含む。
9 2.5YR6/8 橙色土 粘性なし 締まりあり 焼土。
10 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 砂粒含む。
11 5YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり。
12 5YR6/8 橙色土 粘性なし 締まりあり 焼土。
13 7.5YR2/3 極暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり 焼土、炭化物、灰含む。
14 5YR4/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、焼土、炭化物含む。
15 10YR4/3 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 灰含む。
16 7.5YR4/1 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物含む。
17 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 炭化物含む。
18 10YR5/1 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり 灰含む。
19 2.5YR6/8 橙色土 粘性なし 締まりあり 焼土。
20 5YR4/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
21 7.5YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり 締まりあり。

H-6竈2
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム多く含む。
2 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりあり ローム多く含む。
3 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム含む。
4 2.5Y7/3 浅黄色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、ブロック。
5 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。
6 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、灰含む。
7 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰、砂粒含む。
8 7.5YR5/2 灰褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、焼土含む。
9 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。
10 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 炭化物含む。
11 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

0 1:30 1m

第11図　H－6(2)・8(2)・10(1)・11(1)・12(2) 遺構図



H－6 P1
1 7.5YR4/2 灰褐色土 粘性ややあり 締まりあり 砂粒含む。

H－6 P2、P6
1 10YR3/3 暗褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、焼土、FA含む。

H－6 P3
1 7.5YR3/1 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物、焼土、砂粒含む。
2 7.5YR4/4 褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム、軽石粒、砂粒含む。
3 7.5YR4/3 褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム、砂粒含む。

H－6 P4
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、焼土、FA含む。

H－6 P5
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H－12 P2
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

H－12 P3
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H－12 P1
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H－8 竈
1 10YR6/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰、焼土含む。
2 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰含む。
3 5YR2/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 灰、炭化物主体。
4 5YR5/6 明赤褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土。
5 5YR4/2 灰褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、炭化物、灰含む。
6 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
7 5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
8 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
9 5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
10 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
11 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
12 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
13 5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、炭化物含む。
14 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 。
15 5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、灰含む。
16 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土含む。
17 5YR3/2 暗赤かk つ色土 粘性あり 締まりあり 焼土、灰含む。
18 7.5YR4/3 褐色土 粘性なし 締まりあり 炭化物、ローム、灰含む。
19 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 焼土含む。

H－8 貯蔵穴
1 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
2 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック多く含む。
3 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
4 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
5 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
7 10YR6/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
8 10YR7/4 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり
9 10YR6/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H－8 P1
1 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
2 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム、総社砂層、砂岩含む。

H－8 P3・P7
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
2 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。

H－8 P4・P8
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

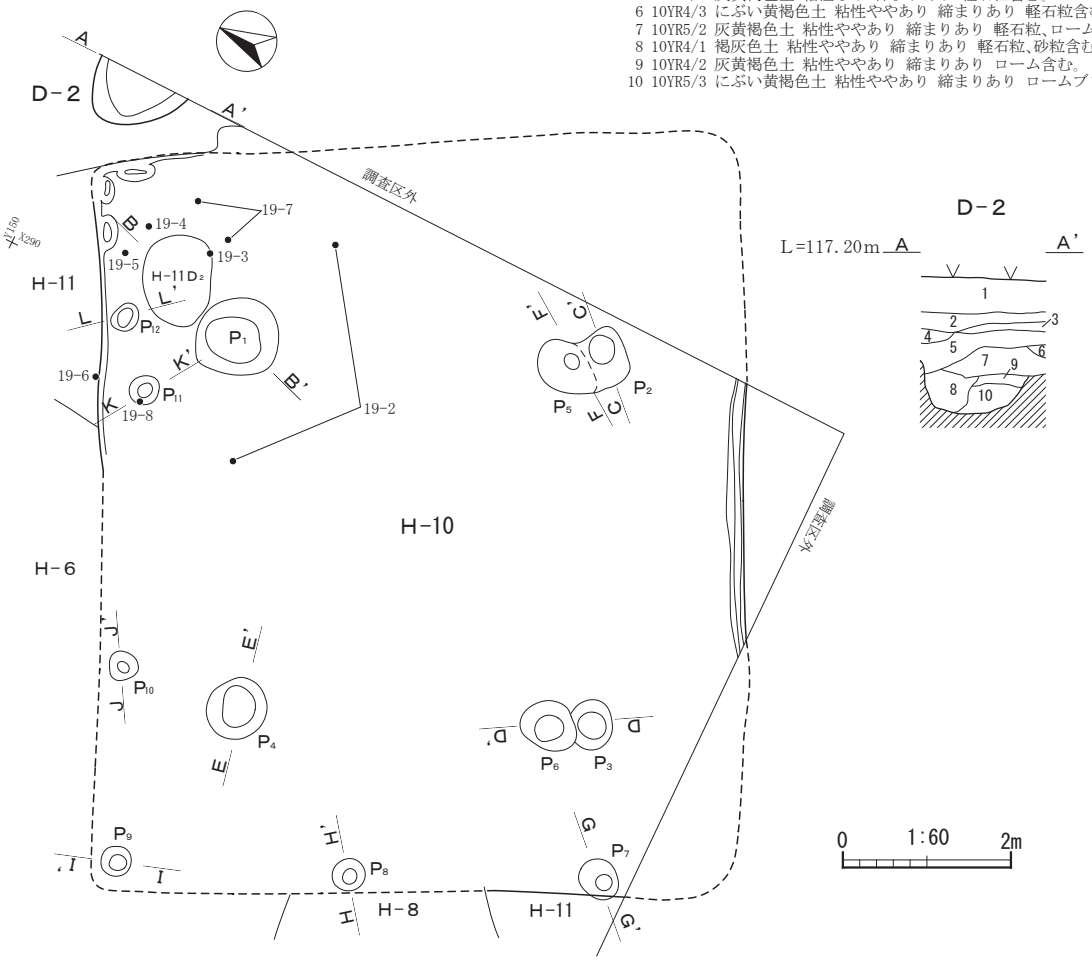
H－8 P5
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。

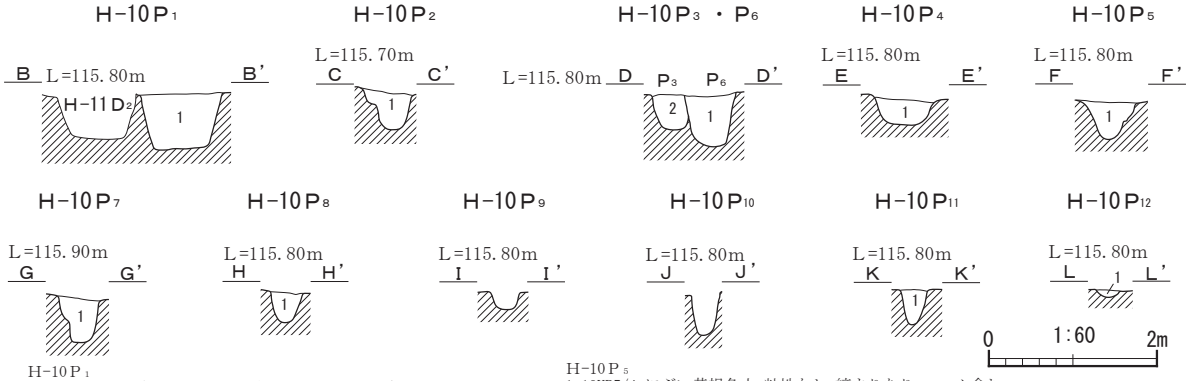
H－8 P9
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。

H－8 D1
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 小礫含む。

第12図　H－6 (3)・8 (3)・12(3) 遺構図

D－2
1 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
2 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
4 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
5 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
6 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒含む。
7 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、ローム含む。
8 10YR4/1 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
9 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム含む。
10 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ロームブロック含む。





H-10P 1
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H-10P 2
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

H-10P 3・P 6
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H-10P 4
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。

H-10P 5
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

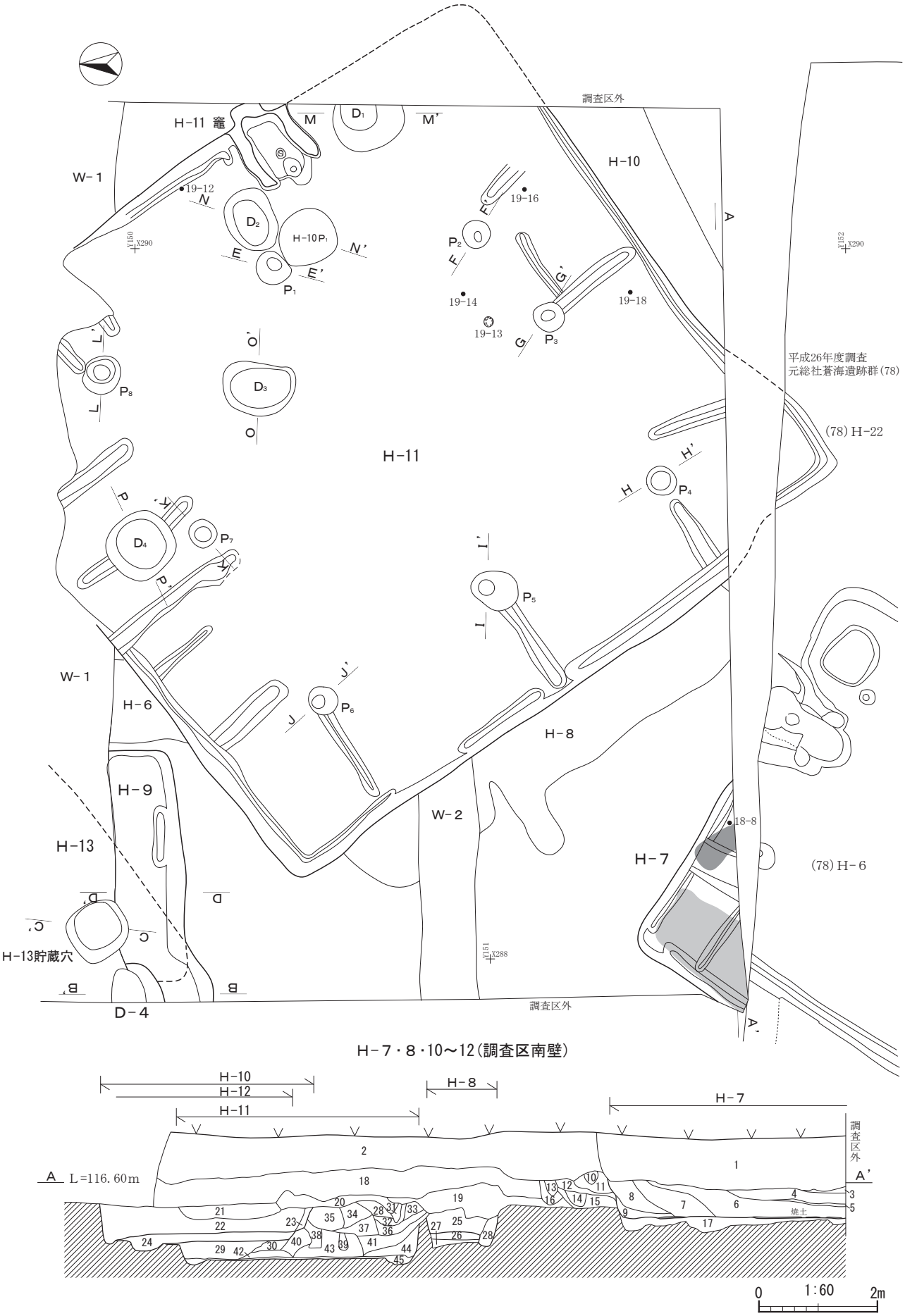
H-10P 7
1 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、砂岩含む。

H-10P 8
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

H-10P 11
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

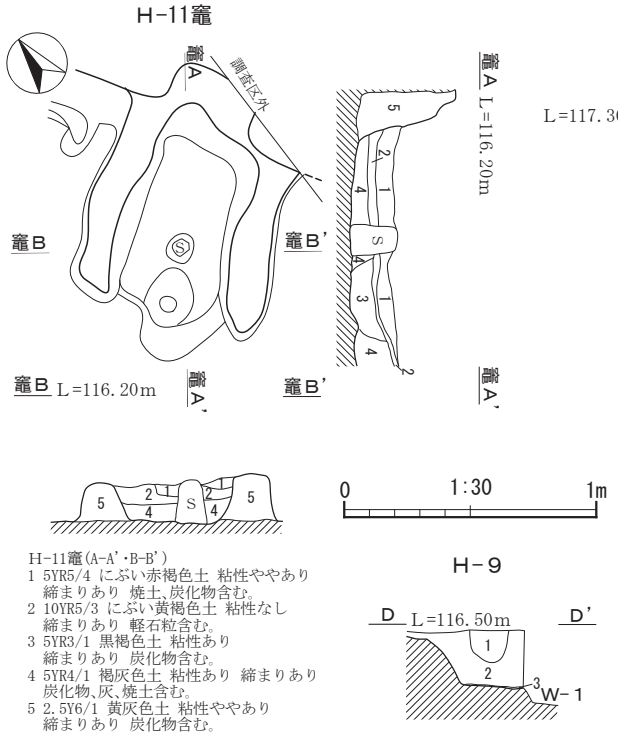
H-10P 12
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

第13図　H－10(2)、D－2遺構図

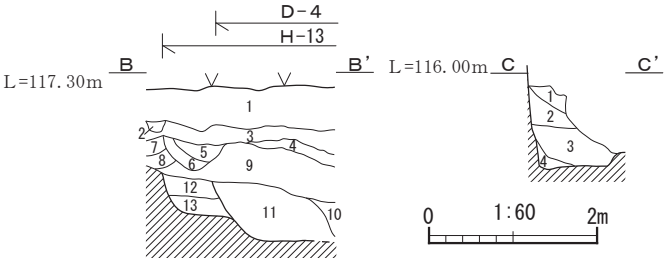


第14図　H－7・9(1)・11(2)・12(4)・13(1)、D－4(1) 遺構図

H－7・8・10・11・12(調査区南壁)
1 7.5YR5/3 にぶい褐色土 粘性あり 締まりなし 埋土。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、砂粒含む。
3 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締まりなし 埋土。ローム主体。
4 10YR5/3 にぶい褐色土 粘性あり 締まりなし 埋土。
5 10YR6/6 明黄褐色土 粘性あり 締まりなし 埋土。ローム主体。
6 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム粒、炭化物、焼土含む。
7 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり ローム粒、炭化物含む。
8 7.5YR6/2 灰褐色土 粘性ややあり 締まりあり 灰、炭化物、粘土含む。
9 7.5YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム粒含む。
10 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰、炭化物含む。
11 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 灰、炭化物含む。
12 10YR7/1 灰白色土 粘性あり 締まりあり 灰、炭化物含む。
13 7.5YR5/3 にぶい褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、炭化物、砂粒含む。
14 5YR5/4 にぶい赤褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、炭化物。
15 10YR8/3 浅黄褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、ローム含む。
16 5YR5/4 にぶい赤褐色土 粘性あり 締まりあり 焼土、炭化物含む。
17 10YR7/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム、炭化物含む。
18 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒含む。
19 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ローム粒含む。
20 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ、総社砂層、砂岩含む。
21 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 砂粒含む。
22 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 砂粒含む。
23 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
24 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム、炭化物含む。
25 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
26 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
27 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
28 10YR6/6 明黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム、地山。
29 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム、炭化物含む。
30 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
31 10YR7/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
32 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
33 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
34 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
35 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
36 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
37 10YR5/2 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
38 10YR6/2 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
39 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム、総社砂層含む。
40 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
41 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
42 10YR6/2 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
43 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、ＦＡ、炭化物含む。
44 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。
45 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ＦＡ主体。



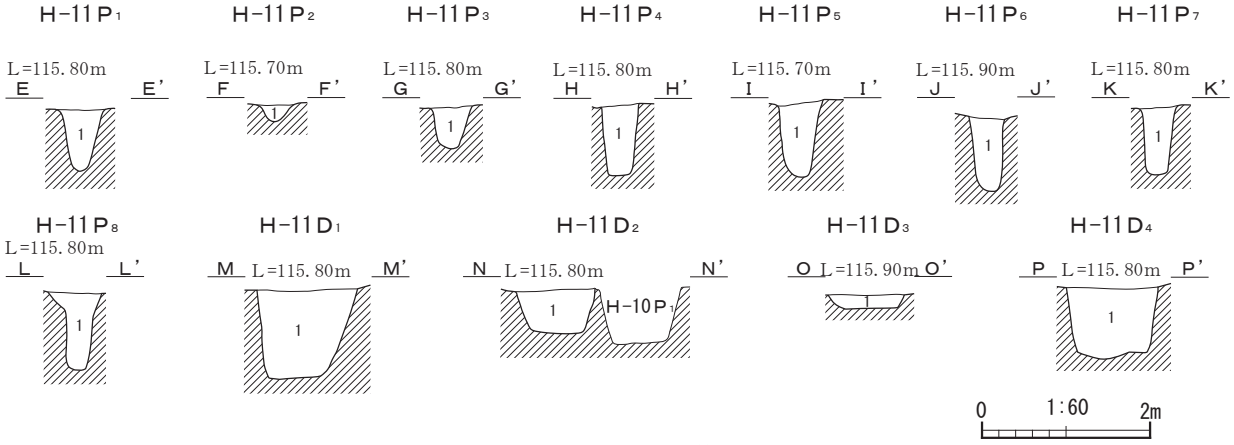
H－11竈(A-A'・B-B')
1 5YR5/4 にぶい赤褐色土 粘性ややあり 締まりあり 焼土、炭化物含む。
2 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 炭化物含む。
4 5YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 炭化物、灰、焼土含む。
5 2.5Y6/1 黄灰色土 粘性ややあり 締まりあり 炭化物含む。



H－13、D－4
1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり。
4 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 砂粒多く含む。
5 10YR4/4 褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
6 10YR4/6 褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
7 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり。
8 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム、軽石粒含む。
9 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム、軽石粒含む。
10 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、炭化物含む。
11 10YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ローム、軽石粒含む。土坑覆土。
12 7.5YR4/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり ローム、軽石粒、砂粒含む。
13 7.5YR4/2 灰褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。

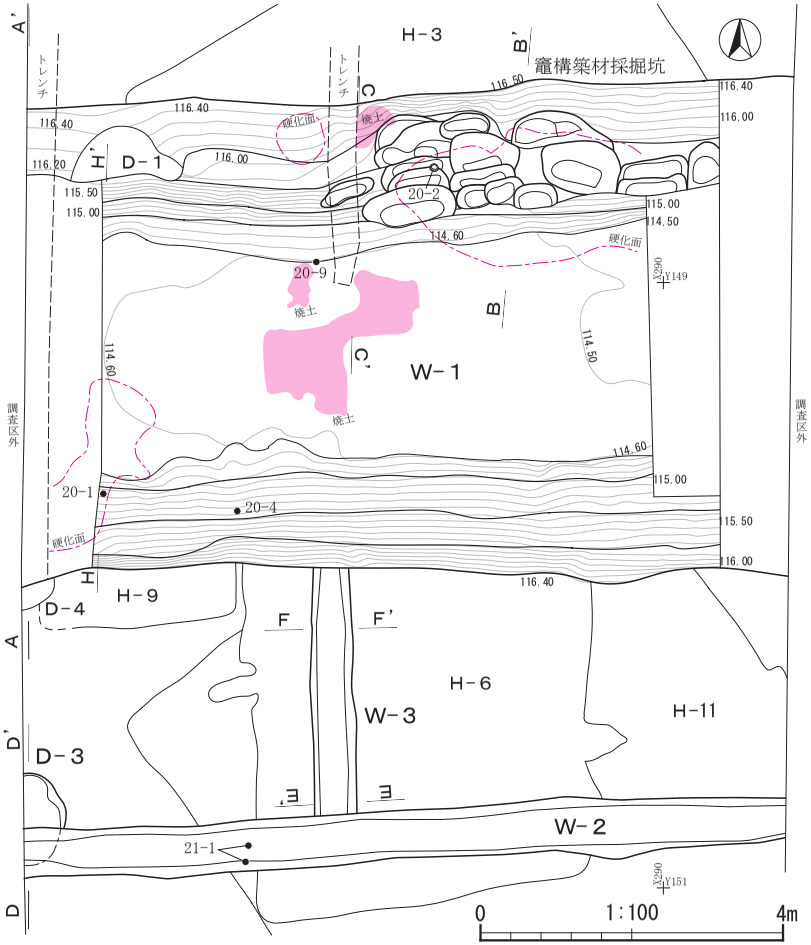
H－13貯蔵穴
1 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
2 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム、総社砂層、砂岩含む。
3 10YR3/2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
4 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりあり ローム主体。

H－9
1 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒含む。
2 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、ローム粒含む。
3 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。

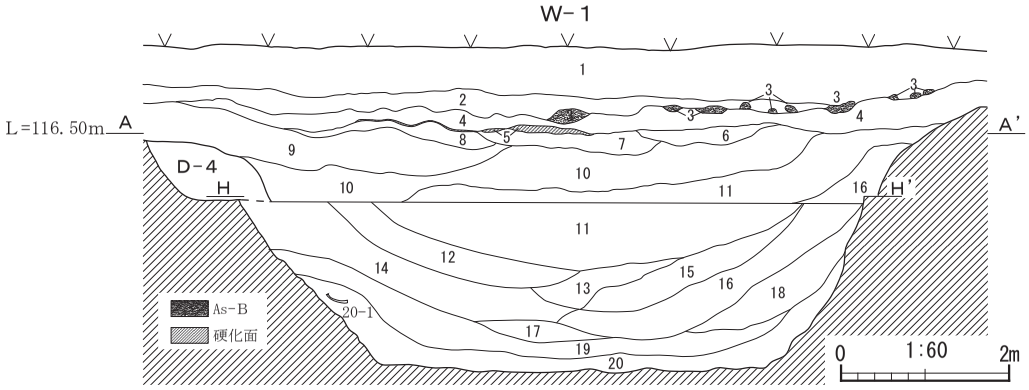


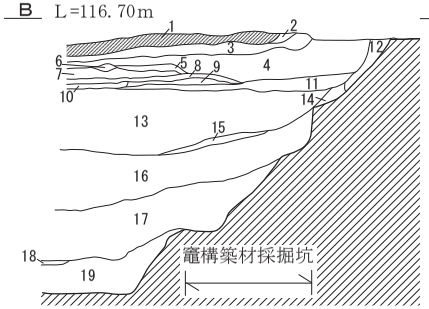
H－11P1
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。
H－11P2
1 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり ローム含む。
H－11P3
1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
H－11P4
1 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、砂岩含む。
H－11P5
1 10RR5/3 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、砂岩含む。
H－11P6
1 10YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり。
H－11P7
1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
H－11P8
1 10YR6/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 総社砂層、砂岩主体。
H－11D1
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
H－11D2
1 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム含む。
H－11D3
1 10YR6/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり FA含む。
H－11D4
1 10YR6/3 にぶい褐色土 粘性なし 締まりあり ローム、FA含む。

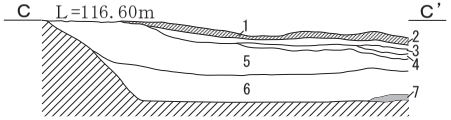
第15図　Ｈ－９(2)・11(3)・13(2)、Ｄ－４(2) 遺構図

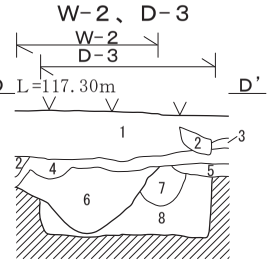


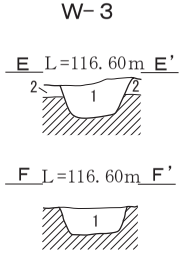
第16図　W-1・2・3、D-3遺構図











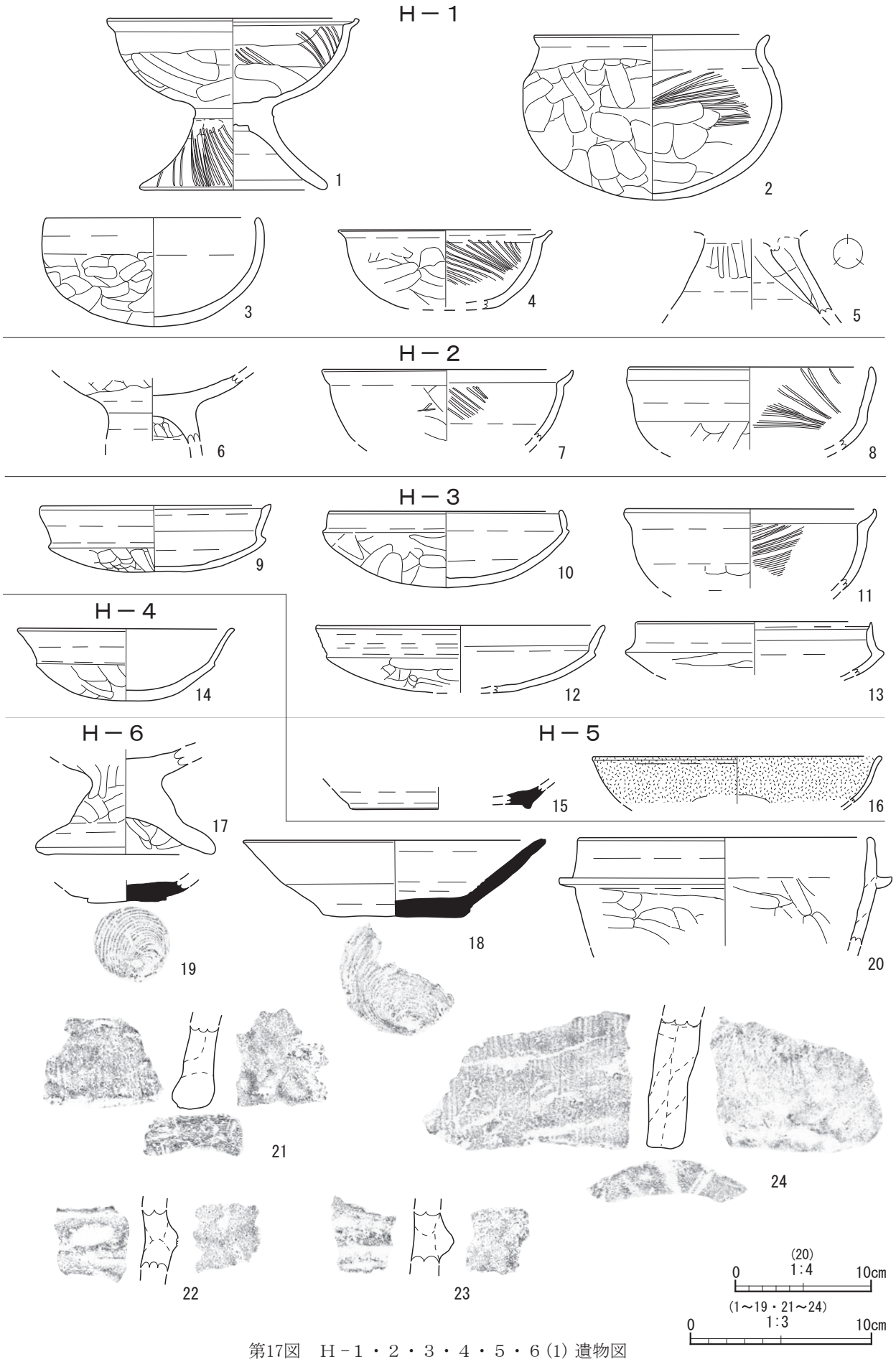
W-2、D-3
1 10YR3/3 暗褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
2 10YR3/2 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。
3 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり。
4 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり
ローム、軽石粒含む。
5 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり
ローム含む。
6 10YR4/1 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり
ロームブロック、軽石粒、砂粒含む。W-2覆土。
7 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり
ローム粒、軽石粒含む。
8 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり
ロームブロック、軽石粒含む。

W-1 (C-C')
1 2.5Y5/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり
硬化面上層。砂質。
2 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒多く含む。軽石粒含む。
3 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり
ローム粒わずかに含む。小礫含む。砂粒多く含む。
4 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒多く含む。軽石粒含む。
5 2.5Y6/2 灰黄色土 粘性あり 締まりあり 砂粒含む。
6 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性なし 締まりあり
砂質。ロームブロックわずかに含む。
7 7.5YR3/1 黒褐色土 粘性あり 締まりあり
炭化物含む。

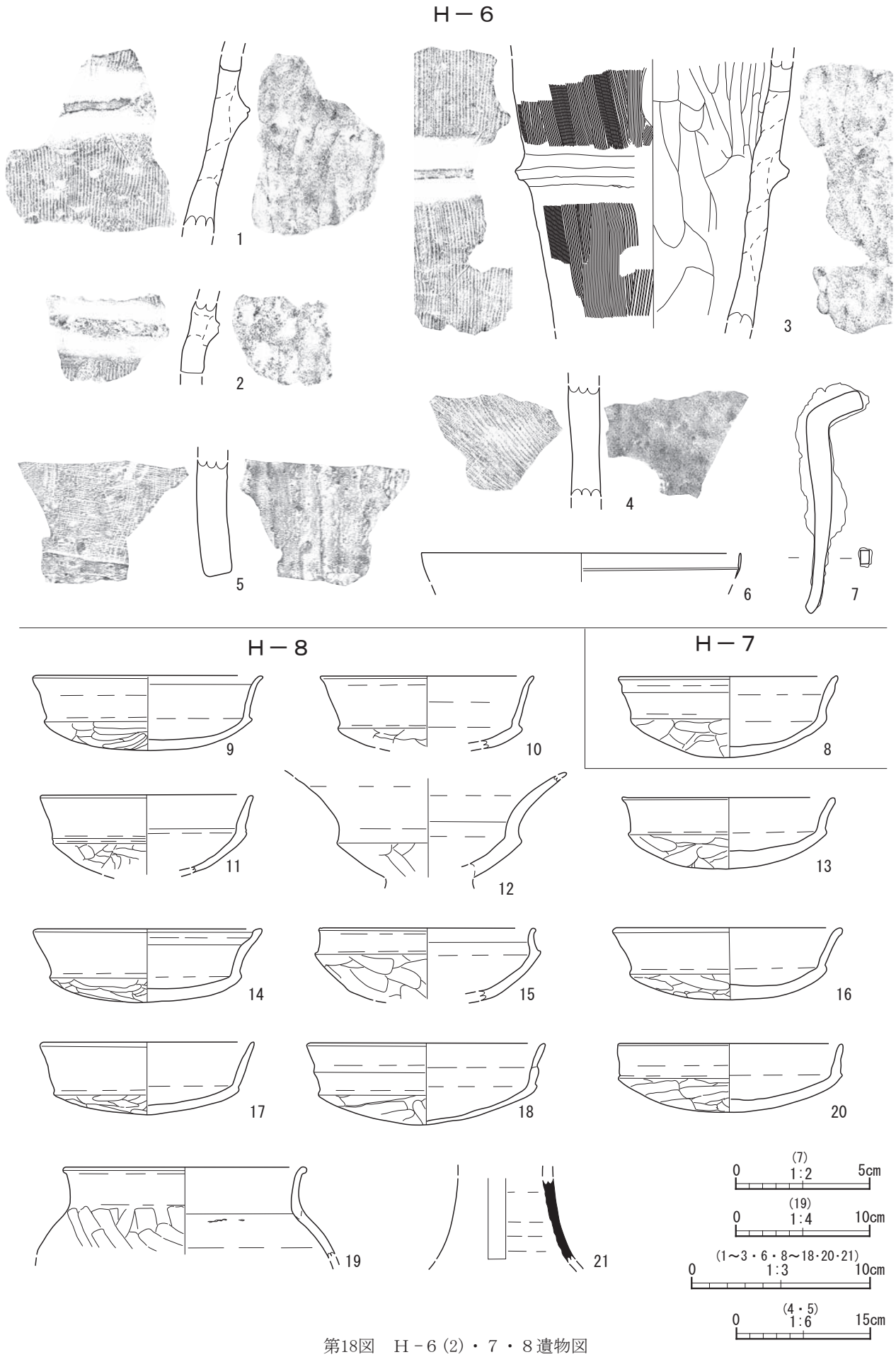
W-1 (B-B')
1 2.5Y5/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり 硬化面上層。砂質。
2 2.5Y5/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりややあり 砂質。
3 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒多く含む。軽石粒含む。
4 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり。
ローム粒わずかに含む。小礫含む。砂粒多く含む。
5 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒多く含む。軽石粒含む。
6 7.5YR5/2 灰褐色土 粘性ややあり 締まりあり 砂粒含む。
7 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり
ローム粒わずかに含む。砂粒多く含む。
8 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒わずかに含む。砂粒多く含む。
9 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性ややあり 締まりあり 砂質。
10 2.5Y6/2 灰黄色土 粘性あり 締まりあり 砂粒含む。
11 2.5Y5/4 黄褐色土 粘性なし 締まりややあり 砂質。
12 2.5Y6/3 にぶい黄色土 粘性なし 締まりややあり 砂質。
ロームブロックわずかに含む。
13 2.5Y6/2 灰黄色土 粘性なし 締まりややあり 砂質。ローム粒含む。
14 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりややあり ローム粒。
15 7.5YR5/4 にぶい褐色土 粘性あり 締まりあり 砂粒含む。
16 2.5Y5/4 黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック多く含む。
17 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性あり 締まりあり 砂粒多く含む。
ロームブロック多く含む。
18 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。
19 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム粒含む。

W-3 (E-E' F-F')
1 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性ややあり 締まりあり 砂粒多く、ローム含む。
2 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒含む。

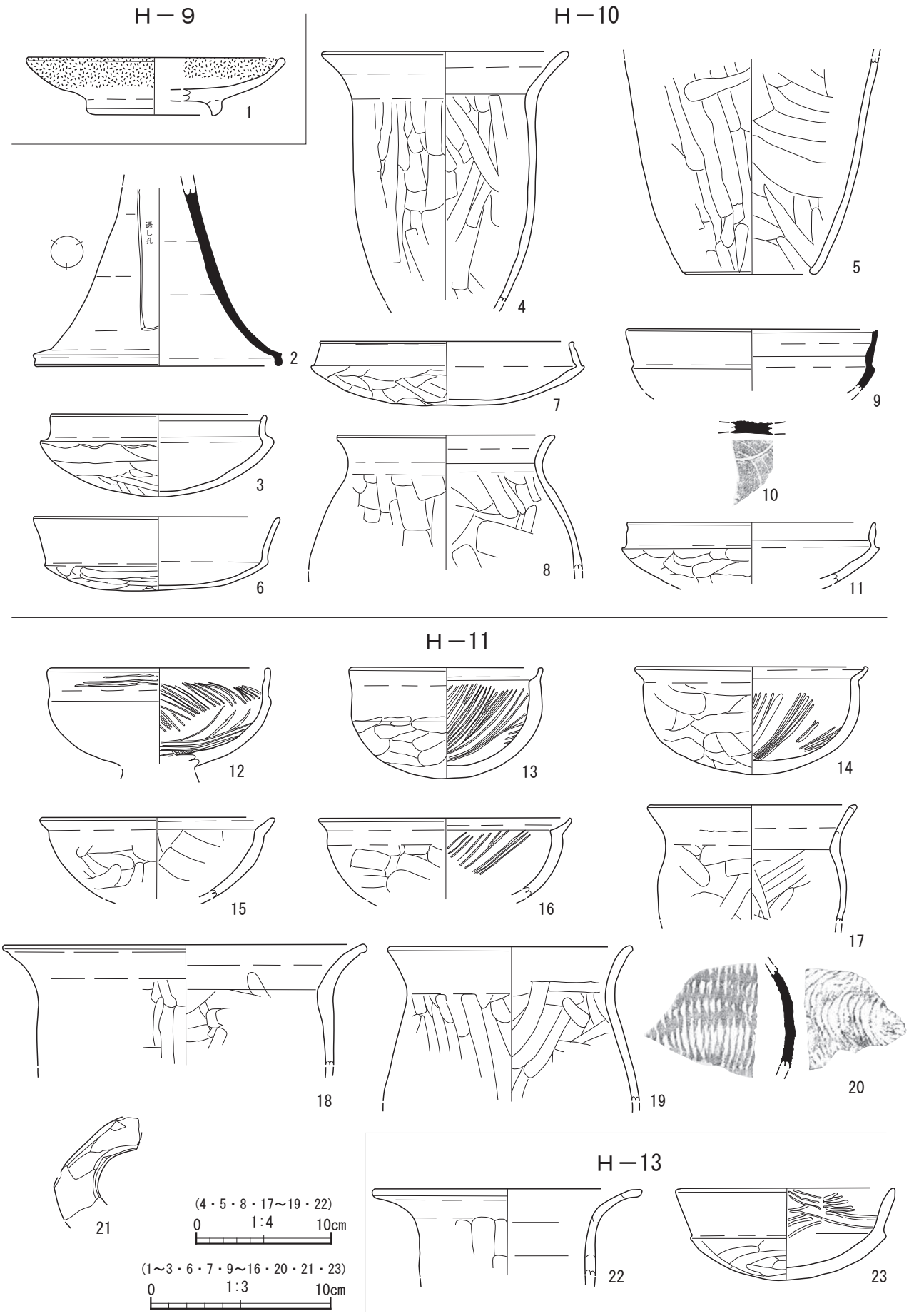
W-1 (A-A')
1 10YR6/3 にぶい黄橙色土 粘性なし 締まりなし 盛土。
2 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり As-B軽石多く含む。
3 10YR5/1 褐灰色土 粘性なし 締まりあり As-B軽石純層。
4 10YR6/2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 砂粒多く含む。
5 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりあり
ローム粒、焼土粒、炭化物多く含む。硬化面。
6 2.5Y4/3 オリーブ褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
7 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
8 7.5Y4/2 灰褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒、炭化物含む。
9 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
10 10YR5/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、炭化物含む。
11 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
12 10YR5/2 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
13 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒含む。
14 10YR5/3 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり ローム粒、軽石粒含む。
15 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ローム粒わずかに含む。
16 10YR6/4 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり ローム粒多く含む。
17 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック、軽石粒含む。
18 10YR4/1 褐灰色土 粘性あり 締まりあり ロームブロックわずかに含む。
19 2.5Y4/2 暗灰黄色土 粘性なし 締まりあり ロームブロック、砂粒多く含む。
20 2.5Y5/3 黄褐色土 粘性あり 締まりあり ロームブロック含む。



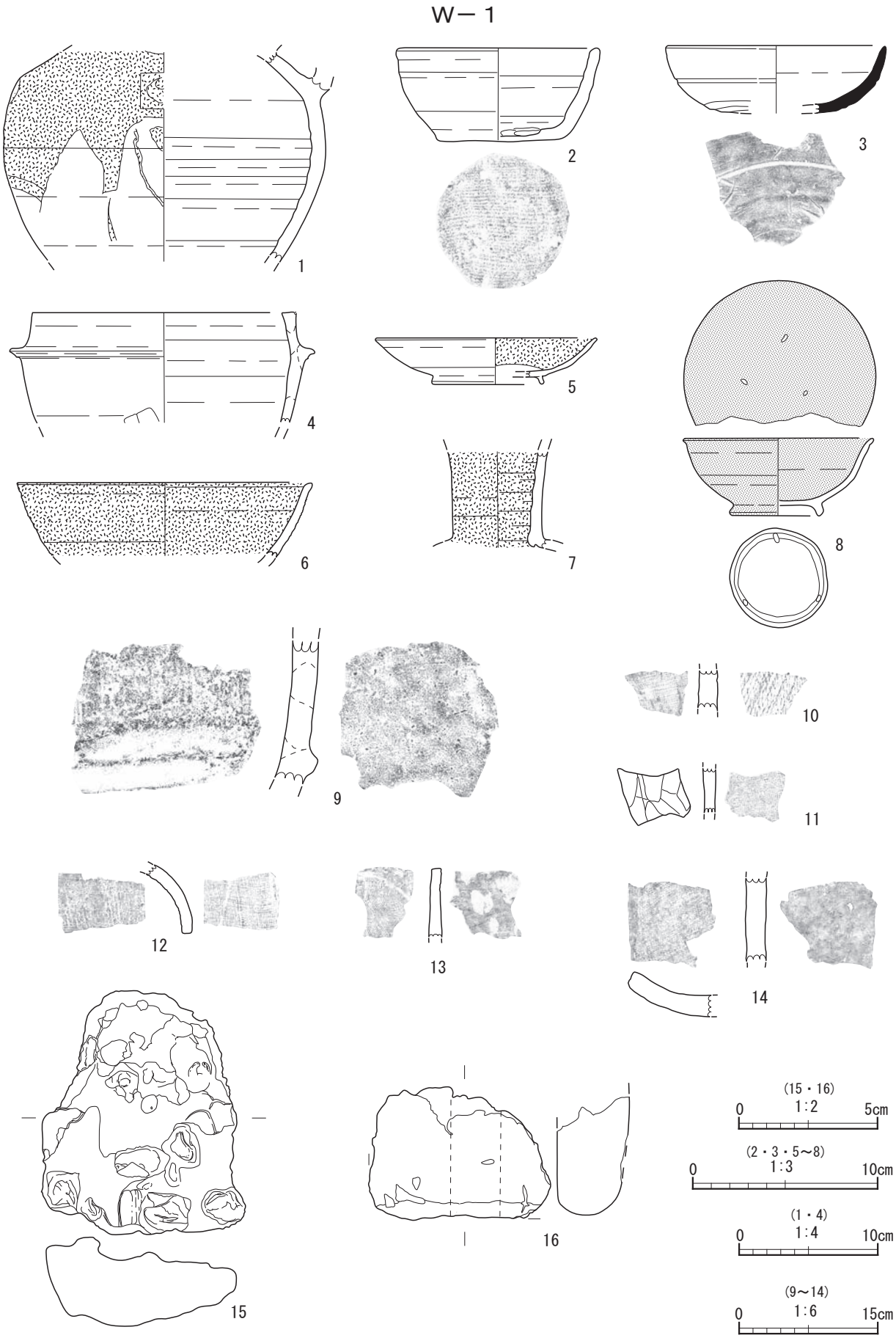
第17図　H－1・2・3・4・5・6(1) 遺物図



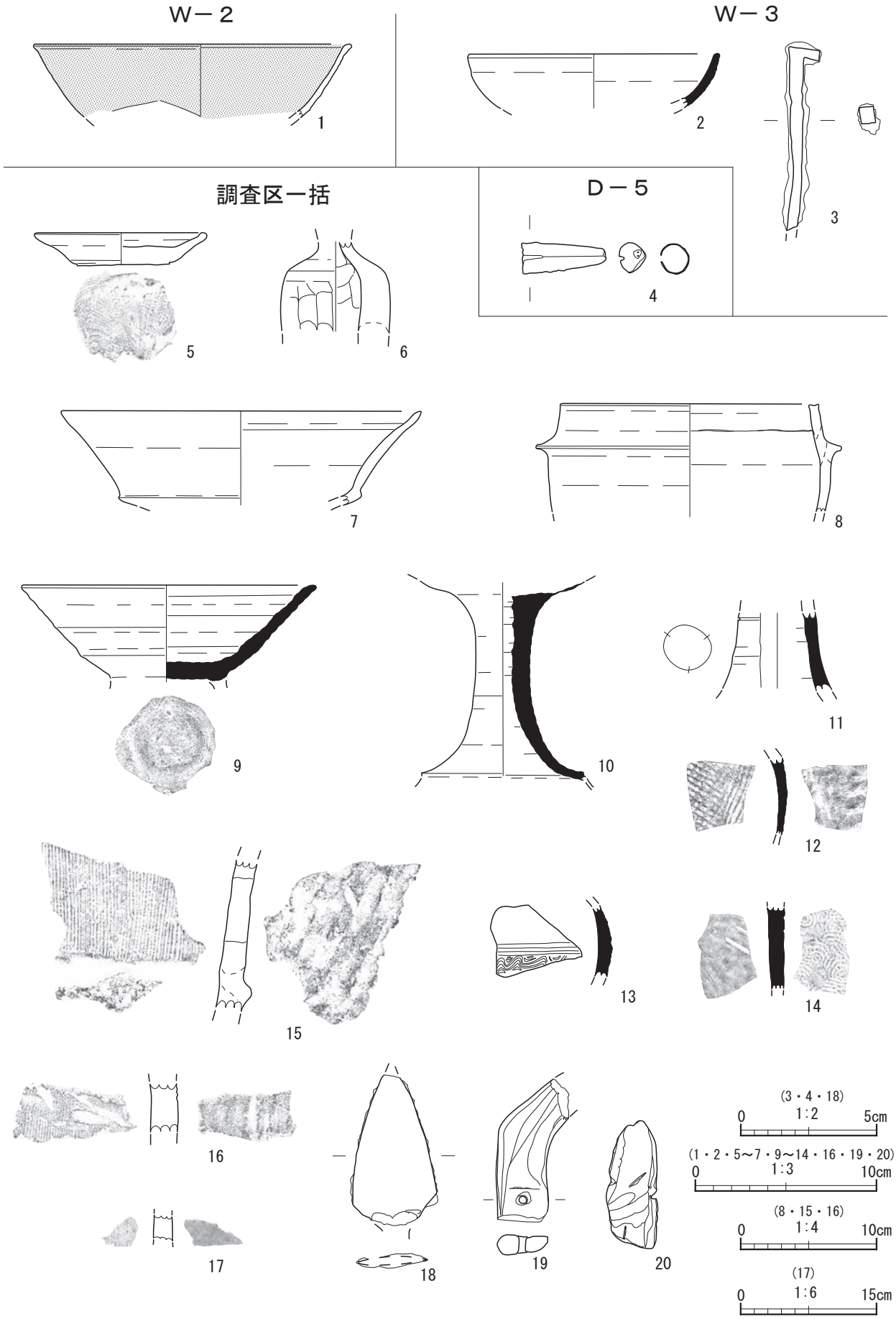
第18図　H－6(2)・7・8遺物図



第19図　H－9・10・11・13遺物図


W－1
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
(15・16)
1:2
0
5cm
(2・3・5～8)
1:3
0
10cm
(1・4)
1:4
0
10cm
(9～14)
1:6
0
15cm

第20図　W－1遺物図



第21図　W－2・3、D－5、調査区一括遺物図

第２表　H-1・２・３・４・５・６遺物観察表

挿図番号 図版番号	出土 位置	台帳 番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考
第17図-1 図版5-1	H-1	2	土師器 高坏	①14.0 ②10.4 ④9.5 接合部径4.5	①石英、砂粒、褐色粒を含む ②良好 ③5YR6/6橙 ④ほぼ完形	内面は坏部ナデ後ヘラミガキ、脚部ナデ゛、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ、脚部ナデ後ヘラミガキ。内斜口縁。	
第17図-2 図版5-2	H-1	3,5	土師器 鉢	①13.0 ③14.3 ④9.1 くびれ径12.5	①砂粒、褐色粒を含む ②良好 ③5YR6/6橙 ④3/4	内面は口縁部ナデ、体部上方ヘラミガキ、下方ナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内斜口縁。	
第17図-3 図版5-3	H-1	1	土師器 埦	①11.8 ③12.3 ④6.0	①石英、褐色粒、小礫を含む ②普通 ③5YR4/6赤褐 ④完形	内面は漆処理、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内器面に荒れ、底外部に黒斑あり。	
第17図-4 図版5-4	H-1	4	土師器 坏	①[11.8] ③[10.8] ④(4.3)	①石英、褐色粒、砂粒、角閃石 ②普通 ③7.5YR6/6橙 ④1/5	内面は口縁部ナデ、体部ヘラミガキ。外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内斜口縁。	
第17図-5 図版5-5	H-1	一括	土師器 器台か	②[9.0] ④[4.0] 接合部径[5.2]	①石英、褐色粒を含む ②良好 ③5YR4/6赤褐 ④脚部1/5	内面はナデ、外面はケズリ後下方ナデ゛。透し孔2ヶ所の一部あり、復元3ヶ所。	
第17図-6 図版5-6	H-2	1	土師器 高坏	①(9.9) ②(5.2) ④(3.6) 接合部径(4.9)	①砂粒 ②普通 ③5YR5/6明赤褐 ④接合部のみ	内面はナデ、外面は坏部ケズリ、接合部以下ナデ。	
第17図-7 図版5-7	H-2	一括	土師器 坏	①[13.9] ③(12.9) ④(4.0)	①砂粒、石英、褐色粒 ②普通 ③2.5YR5/6明赤褐 ④小片	内面はナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内斜口縁。	
第17図-8 図版5-8	H-2	一括	土師器 坏	①[13.4] ③[12.8] ④(4.6)	①砂粒、石英 ②普通 ③5YR4/8赤褐 ④小片	内面はナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第17図-9 図版5-9	H-3	1	土師器 坏	①[12.6] ③[12.0] ④3.6	①砂粒、褐色粒、石英 ②普通 ③5YR7/6橙 ④1/4	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内黒。	
第17図-10 図版5-10	H-3	掘り方 一括	土師器 坏	①[12.8] ③[13.6] ④4.3	①砂粒、石英 ②普通 ③5YR5/4にぶい赤褐 ④1/2	内面はナデ後漆処理、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第17図-11 図版5-11	H-3	一括	土師器 坏	①[13.7] ③[13.0] ④(4.4)	①砂粒 ②良好 ③2.5YR5/6明赤褐 ④小片	内面はナデ後体部ヘラミガキ、外面は口唇から体部上方までナデ、体部下方ケズリ。内斜口縁。	
第17図-12 図版5-12	H-3	一括	土師器 坏	①[15.9] ③[14.9] ④(3.7)	①砂粒 ②普通 ③5YR4/6赤褐 ④1/4	内面はナデ、外面は口縁部はナデ、体部ケズリ。	
第17図-13 図版5-13	H-3	一括	土師器 坏	①[12.9] ③[14.3] ④(3.0)	①砂粒 ②良好 ③5YR3/1黒褐 ④小片	内面はナデ、外面は口縁部はナデ、体部ケズリ。	
第17図-14 図版5-14	H-4 H-5	一括	土師器 坏	①[11.8] ③[9.9] ④(4.0)	①褐色粒、砂粒 ②普通 ③7.5YR6/6橙 ④1/3	内面はナデ、外面は口縁部はナデ、体部ケズリ。	
第17図-15 図版5-15	H-5	一括	須恵器 不明	②[9.9] ④(1.2)	①砂粒 ②普通 ③2.5Y7/1灰白 ④小片	ロクロ成形。	
第17図-16 図版5-16	H-5	一括	灰釉陶器 埦	①[15.9] ④(2.6)	②良好 ③2.5Y8/1灰白 ④小片	ロクロ成形。灰釉漬け掛け。	
第17図-17 図版5-17	H-6	11	土師器 台付甕	②9.4 ④(5.8) 接合部径4.9	①砂粒、石英 ②やや不良 ③7.5YR6/3にぶい褐 ④接合部	内面は甕部・台部ナデ、外面は甕部から接合部にかけてナデ、接合部から台部ケズリ、裾はナデ。	
第17図-18 図版5-18	H-6	H-8 23	須恵器 (酸化焔) 坏	①[16.6] ②[8.0] ④4.3	①砂粒、石英、角閃石、褐色粒 ②普通 ③7.5YR7/4にぶい橙 ④1/4	轆轤成形。底部糸切り。	
第17図-19 図版5-19	H-6	一括	須恵器 (酸化焔) 坏	②4.3 ④(1.2)	①砂粒 ②普通 ③7.5YR7/6橙 ④底部	内面はﾅﾃﾞ、外面はｹｽﾞﾘ、底部糸切り。	
第17図-20 図版5-20	H-6	3	土師器 羽釜	①[21.6] ④(8.0) 凸帯径[24.6]	①砂粒 ②普通 ③7.5YR6/4にぶい橙 ④口縁部1/5	内面はﾅﾃﾞ、外面は凸体部より上方ナデ、下方はｹｽﾞﾘ。	
第17図-21 図版5-21	H-6	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(4.5)	①砂粒、石英、長石 ②普通 ③7.5YR8/4浅黄橙 ④底部小片	内面はナデ、底部指圧調整、外面はハケ目。	
第17図-22 図版5-22	H-6	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(3.4)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR8/6浅黄橙 ④小片	内面はナデ、外面凸帯貼付後ナデ。	
第17図-23 図版5-23	H-6	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(2.8)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR6/6橙 ④小片	内面はナデ、外面凸帯貼付後ナデ。	
第17図-24 図版5-24	H-6	1	埴輪 円筒埴輪	長さ(7.0)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR7/4にぶい橙 ④底部小片	内面はナデ、底部指圧調整、外面はハケ目。敷物圧痕あり。	
第18図-1 図版5-25	H-6	5	埴輪 円筒埴輪	長さ(10.0)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR8/4浅黄橙 ④小片	内面はナデ、外面はハケ目後凸帯貼付後ナデ。透し孔。	
第18図-2 図版5-26	H-6	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(4.0)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR8/6浅黄橙 ④小片	内面はナデ、外面はハケ目後凸帯貼付後ナデ。透し孔。	
第18図-3 図版5-27	H-6	2,6 一括	埴輪 円筒埴輪	④(15.0)	①砂粒、石英、長石 ②普通 ③7.5YR6/4にぶい橙	内面はナデ、外面はハケ目、凸帯部ナデ。透し孔2ヶ所。	
第18図-4 図版5-28	H-6	一括	瓦 平瓦	長さ(6.1)	①砂粒 ②良好 ③5PB5/1青灰 ④小片	凹面は布目後カキ目、凸面はヘラナデ、わずかに自然釉。	
第18図-5 図版5-29	H-6	一括	瓦 平瓦	残長6.5	①砂粒 ②普通 ③2.5Y7/1灰白 ④小片	凹面は布目、凸面は縄蓆叩き粗く、ナデ消す。	
第18図-6 図版5-30	H-6	4	銅製品 銙	①[18.0] ④(1.6) 重さ(6.44)	③5G2/1緑黒 ④小片 重さ(6.44)	内面、口縁部に沈線1条。	
第18図-7 図版5-31	H-6	7	鉄製品 鉄釘	長さ(8.4) 最大幅0.8 厚さ0.3 重さ23.83			

第３表　H-７・８・９・10・11・13遺物観察表

挿図番号 図版番号	出土 位置	台帳 番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考
第18図-8 図版5-32	H-7	掘り方1	土師器 坏	①12.1 ③11.0 ④4.6	①砂粒、石英 ②良好 ③2.5YR6/6明赤褐 ④2/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-9 図版6-1	H-8	H-6 15	土師器 坏	①12.8 ③11.6 ④4.2	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③7.5YR7/6橙 ④1/2	内面はナデ、外面は口縁部はナデ、体部ケズリ。	
第18図-10 図版6-2	H-8	H-6 一括	土師器 坏	①[11.8] ③[10.3] ④(4.0)	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③5YR7/6橙 ④1/6	内面はﾅﾃﾞ、外面はｹｽﾞﾘ。	
第18図-11 図版6-3	H-8	H-6 10	土師器 坏	①[11.8] ③[10.9] ④(4.0)	①砂粒、褐色粒 ②良好 ③5YR7/8橙 ④1/4	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-12 図版6-4	H-8	H-6 一括	土師器 高坏	④(5.6) 大径[14.9] 段径[10.4] 小径[5.1]	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③5YR7/8橙 ④小片	内面はナデ、外面は上段ナデ、下段ケズリ。	
第18図-13 図版6-6	H-8	12,14	土師器 坏	①11.8 ③11.1 ④4.0	①砂粒、褐色粒 ②良好 ③5YR6/6橙 ④完形	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-14 図版6-7	H-8	竈1	土師器 坏	①12.5 ③10.8 ④4.1	①砂粒、褐色粒 ②良好 ③7.5YR7/6橙 ④完形	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-15 図版6-8	H-8	ピット 一括	土師器 坏	①[12.0] ③[12.6] ④(4.1)	①砂粒 ②良好 ③7.5YR7/4にぶい橙 ④口縁部1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-16 図版6-9	H-8	10	土師器 坏	①12.6 ③11.0 ④4.1	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③5YR7/6橙 ④完形	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-17 図版6-10	H-8	6	土師器 坏	①[11.8] ③[10.4] ④4.1	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③7.5YR7/4にぶい橙 ④1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-18 図版6-11	H-8	19	土師器 坏	①[13.1] ③[12.3] ④4.6	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③5YR7/6橙 ④2/5	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-19 図版6-12	H-8	4	土師器 甕	①[17.8] ④(6.5) 頸径[17.2] 大径[22.3]	①砂粒、角閃石 ②やや不良 ③2.5Y8/2灰白 ④口縁部1/4	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-20 図版6-13	H-8	11	土師器 坏	①12.5 ③12.6 ④3.8	①砂粒、褐色粒、石英 ②良好 ③2.5YR5/4にぶい赤褐 ④3/4	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第18図-21 図版6-5	H-8	一括	須恵器 高坏	④(4.5) 小径[5.4] 大径[7.8]	①砂粒、石英 ②やや不良 ③10YR4/1褐灰 ④小片	轆轤成形。透し孔3ヶ所。	
第19図-1 図版6-14	H-9	一括	灰釉陶器 高台付皿	①[14.2] ②[6.8] ④(3.2)	②良好 ③2.5Y7/1灰白 ④1/5	轆轤成形。高台接合後、糸切りナデ消す。灰釉漬け掛け。	
第19図-2 図版6-15	H-10	5,23	須恵器 高坏	④(10.0) 小径[4.2] 大径[13.8]	①砂粒 ②良好 ③N4/灰 ④脚部1/2	轆轤成形。透し孔、3ヶ所のうちの1つか。	
第19図-3 図版6-16	H-10	14	土師器 坏	①[11.9] ③[13.0] ④4.6	①砂粒、石英、角閃石 ②良好 ③2.5Y7/2灰黄 ④1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内黒。還元焔か。	
第19図-4 図版6-17	H-10	15 一括	土師器 甕	①[18.2] ③[13.6] ④(18.5) くびれ径[12.8]	①砂粒、石英 ②普通 ③2.5Y8/4淡黄 ④口縁部1/4	内面は口縁部ナデ、体部ヘラナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-5 図版6-18	H-10	16	土師器 甑	②[9.8] ④(18.0) 大径[18.9]	①砂粒、石英 ②普通 ③7.5YR7/3にぶい橙 ④底部1/4	内面はナデ、外面はケズリ。	
第19図-6 図版6-19	H-10	21	土師器 坏	①13.6 ③12.4 ④4.1	①砂粒、褐色粒 ②良好 ③2.5YR6/6橙 ④1/2	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内黒。	
第19図-7 図版6-20	H-10	7,10	土師器 坏	①14.1 ③15.2 ④3.6	①砂粒 ②良好 ③5YR5/6明赤褐 ④1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-8 図版6-21	H-10	22	土師器 甕	①[16.1] ③[20.3] ④(10.0) くびれ径[13.9]	①砂粒、石英 ②普通 ③2.5Y8/2灰白 ④口縁部1/4	内面は口縁部ナデ、体部ヘラナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-9 図版6-22	H-10	一括	須恵器 坏	①[13.8] ③[13.5] ④(3.4)	①砂粒 ②良好 ③N5/灰 ④小片	轆轤成形。自然釉がかかる。	
第19図-10 図版6-23	H-10	一括	須恵器 坏か		①砂粒 ②良好 ③N4/灰 ④小片	底部線刻あり。	
第19図-11 図版6-24	H-10	P１ 一括	土師器 坏	①[13.7] ③[14.4] ④(3.0)	①砂粒 ②普通 ③5YR6/2灰褐 ④1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-12 図版6-25	H-11	3	土師器 高坏	①12.2 ③12.4 ④(5.6)	①砂粒、石英、褐色粒 ②良好 ③5YR7/6橙 ④坏部のみ	内面は坏部ナデ後ヘラミガキ、外面は坏部口縁部ナデ後ヘラミガキ、体部ケズリ後ミガキ。	
第19図-13 図版6-26	H-11	11	土師器 坏	①10.5 ③10.6 ④6.4	①砂粒、石英、角閃石 ②普通 ③5YR6/6橙 ④完形	内面はナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内斜口縁。	
第19図-14 図版6-27	H-11	10	土師器 坏	①[12.8] ③[11.9] ④6.0	①砂粒、褐色粒、石英 ②良好 ③2.5YR6/8橙 ④1/3	内面はナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。内斜口縁。	
第19図-15 図版6-28	H-11	掘り方 一括	土師器 坏	①[13.9] ③[13.2] ④(4.6)	①砂粒 ②普通 ③5YR4/8赤褐 ④小片	内面は口縁部ナデ、体部ナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-16 図版6-29	H-11	6	土師器 坏	①[13.2] ③[11.7] ④(4.6)	①砂粒、褐色粒、石英、角閃石 ②普通 ③5YR6/6橙 ④小片	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-17 図版6-30	H-11	掘り方 一括	土師器 甕	①[15.4] ④(8.5) くびれ径[13.0] 大径[14.0]	①砂粒、石英 ②普通 ③10YR8/4浅黄橙 ④口縁部1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-18 図版6-31	H-11	13	土師器 甕か甑	①[17.9] ④(11.5) くびれ径[15.5] 大径[19.0]	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③10YR8/4浅黄橙 ④口縁部1/2	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-19 図版6-32	H-11	P32 一括	土師器 甕	①[17.8] ④(11.5) くびれ径[15.4] 大径[18.9]	①砂粒、石英 ②普通 ③10YR8/4浅黄橙 ④口縁部1/3	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-20 図版6-33	H-11	一括	須恵器 甕		①砂粒 ②普通 ③7.5YR7/1明褐灰 ④小片	内面は当て具痕、外面は叩き具痕。	
第19図-21 図版6-34	H-11	一括	石製 模造品	長さ(8.1) 幅(3.0) 穿孔径0.3 厚さ(1.1) 重さ(25.50)			
第19図-22 図版6-35	H-13	H-9掘り方 一括	土師器 甕	①[19.8] ③[13.1] ④(6.5)	①砂粒、石英 ②普通 ③7.5YR5/2灰褐 ④小片	内面はナデ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	
第19図-23 図版6-36	H-13	H-9掘り方 一括	土師器 坏	①12.0 ③10.8 ④5.1	①砂粒、褐色粒、角閃石、石英 ②良好 ③5YR5/4にぶい赤褐 ④4/5	内面はナデ後ヘラミガキ、外面は口縁部ナデ、体部ケズリ。	

第４表　W-1・２・３、D-５、調査区一括遺物観察表

挿図番号 図版番号	出土 位置	台帳 番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考
第20図-1 図版7-1	W-1	2	灰釉陶器 壺	③[23.3] ④(15.2)	①砂粒 ②良好 ③5YR6/1褐灰 ④肩部1/4	轆轤成形。肩から胴に灰釉。耳痕あり。耳の検出は１箇所のみ。図は位置を変えて作図。	
第20図-2 図版7-2	W-1	1	土師器 坏	①10.8 ②6.4 ④5.1	①砂粒 ②普通 ③5YR6/3にぶい橙 ④完形	轆轤成形。静止糸切り。内底部ナデ。	
第20図-3 図版7-3	W-1	下層 一括	須恵器 坏	①[11.8] ④(3.7)	①砂粒 ②普通 ③5Y5/1灰 ④1/5	轆轤成形。体部上方沈線1条。外面は体部下方ヘラ切り。	
第20図-4 図版7-4	W-1 炭化物周辺	1	土師器 羽釜	①[19.1] ④(7.9) 凸帯径[22.1]	①砂粒 ②普通 ③10YR8/2灰白 ④小片	内面、外面はナデ。	
第20図-5 図版7-5	W-1	一括	灰釉陶器 高台付皿	①[11.9] ②[6.0] ④2.6	②良好 ③2.5Y8/1灰白 ④1/5	轆轤成形。高台貼付。灰釉。見込みに目跡あり。	
第20図-6 図版7-6	W-1	一括	灰釉陶器 高台付埦	①[15.9] ④(4.0)	②良好 ③2.5Y8/1灰白 ④口縁部1/4	轆轤成形。灰釉。	
第20図-7 図版7-7	W-1 炭化物周辺	一括	灰釉陶器 長頸壺	④(5.2) 接合部径[5.1]	②良好 ③2.5YR8/1灰白 ④小片	轆轤成形。灰釉。	
第20図-8 図版7-8	W-1	上層 一括	緑釉陶器 高台付埦	①10.2 ②4.8 ④4.2	②良好 ③濃緑色 ④3/4	轆轤成形。濃緑色釉。見込みと高台にトチン痕各3か所あり。	
第20図-9 図版7-9	W-1 炭化物周辺	4	埴輪 円筒埴輪	長さ(7.8)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②やや不良 ③7.5YR7/6橙 ④小片	内面はナデ、外面はハケ目、凸帯貼付後ナデ。	
第20図-10 図版7-10	W-1	一括	瓦 平瓦	長さ(4.3)	①砂粒 ②普通 ③7.5YR5/2灰褐 ④小片	凹面は布目、継ぎ目あり、凸面は縄蓆叩き。	
第20図-11 図版7-11	W-1 下層	一括	瓦 丸瓦	長さ(4.9)	①砂粒、石英、長石 ②普通 ③7.5YR6/3にぶい褐 ④小片	凹面は布目、凸面はケズリ。	
第20図-12 図版7-12	W-1	下層 一括	瓦 丸瓦	長さ(5.5)	①砂粒 ②普通 ③N5/灰 ④小片	凹面布目、模骨痕あり、凸面縄蓆叩き後粗くナデ消す。	
第20図-13 図版7-13	W-1	一括	瓦 丸瓦	長さ(7.5)	①砂粒、褐色粒 ②普通 ③7.5YR6/2灰褐 ④小片	凹面は布目、凸面はヘラナデ。	
第20図-14 図版7-14	W-1 下層	一括	瓦 平瓦	残長6.6	①砂粒、石英、長石 ②普通 ③2.5Y5/1黄灰 ④小片	凹面は布目、粗くナデ消す、凸はヘラナデ。	
第20図-15 図版7-15	W-1 下層	一括	鉄 鉄滓	長さ(8.8) 幅(7.3) 厚さ(2.4) 重さ(219)			
第20図-16 図版7-16	W-1 下層	一括	羽口	長さ(4.7) 幅(6.5) 空洞径(1.8)			
第21図-1 図版7-17	W-2	1,2 一括	灰釉陶器 高台付埦	①[17.4] ④(4.1)	②良好 ③2.5Y7/1灰白 ④口縁部1/3	轆轤成形。灰釉漬け掛け。	
第21図-2 図版7-18	W-3	一括	須恵器 坏	①[13.9] ④(3.0)	①砂粒 ②普通 ③10YR8/1灰白 ④小片	轆轤成形。	
第21図-3 図版7-19	W-3	一括	鉄製品 鉄釘	長さ(6.8) 幅0.5 厚さ0.5 重さ(23.83)	④端部欠損		
第21図-4 図版7-20	D-5	一括	銅製品 キセル 吸い口	長さ3.0 最大径1.1 最小径0.3 重さ4.07	④完形		
第21図-5 図版7-21	調査区 (W1南)	一括	土師器 坏	①9.2 ②5.1 ④11.8	①砂粒 ②普通 ③7.5YR7/6橙 ④1/3	轆轤成形。底部糸切り。	
第21図-6 図版7-22	調査区	一括	土製品	④(5.0) 残最大径5.1	①砂粒 ②普通 ③7.5YR7/4にぶい橙 ④小片	内面はナデ、外面はナデ、ケズリ。	
第21図-7 図版7-23	調査区 (W1南)	一括	土師器 高坏	①[19.9] ④(5.2) 段径[13.8]	①砂粒 ②普通 ③5YR6/8橙 ④口縁部1/5	内面、外面はナデ。	
第21図-8 図版7-24	調査区 (W1南)	一括	土師器 羽釜	①[18.9] ④(8.3) 凸帯径[22.6]	①砂粒 ②普通 ③2.5Y2/1黒 ④口縁部1/5	轆轤成形。	
第21図-9 図版7-25	調査区 (W1北)	一括	須恵器 高台付埦	①[16.3] ④(5.2)	①砂粒 ②普通 ③2.5Y7/1灰白 ④1/4	轆轤成形。高台貼付。	
第21図-10 図版7-26	調査区	一括	須恵器 高坏	④(11.0) 接合部径5.7 脚部最小径3.5	①砂粒 ②良好 ③2.5YR6/1黄灰 ④脚部裾なし	轆轤成形。分離成形後、坏部脚部接合。	
第21図-11 図版7-27	調査区	一括	須恵器 高坏	④(4.1)	①砂粒 ②普通 ③7.5YR4/2灰褐 ④小片	轆轤成形。透し孔3カ所。外面に沈線1条。	
第21図-12 図版7-28	調査区 (W1北)	一括	須恵器 甕か		①砂粒 ②普通 ③7.5YR5/1褐灰 ④小片	内面は当て具痕ナデ消す。外面は格子叩き。	
第21図-13 図版7-29	調査区 (W1北)	一括	須恵器 甕か		①砂粒 ②普通 ③N6/灰 ④小片	轆轤成形。外面は沈線2条の下に波状紋。	
第21図-14 図版7-30	調査区 (W1南)	一括	陶器 大甕	④(8.9)	①砂粒、石英 ②良好 ③10YR5/1褐灰 ④小片	「二」字か。線刻あり。内面は叩き当て具痕。外面は叩き後ナデ消す。	
第21図-15 図版7-31	調査区 (W1南)	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(7.7)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR8/4浅黄橙 ④小片	内面はナデ、外面はハケ目後凸帯貼付後ナデ。透し孔。	
第21図-16 図版7-32	調査区 (W1南)	一括	埴輪 円筒埴輪	長さ(2.7)	①砂粒、石英、片岩粒、長石 ②普通 ③7.5YR7/6橙 ④小片	内面はナデ、外面はハケ目。	
第21図-17 図版7-33	調査区 (W1北)	一括	瓦 平瓦	長さ(2.5)	①砂粒 ②良好 ③2.5Y7/1灰白 ④小片	凹面は布目後カキ目、凸面はヘラナデ。	
第21図-18 図版7-34	調査区	一括	鉄製品 鉄鏃	長さ(5.5) 幅[3.2] 厚さ0.3 重さ(23.67)	④先端かえり、茎部欠損		
第21図-19 図版7-35	調査区 (W1南)	一括	石製 模造品	長さ(8.0) 幅(2.8) 厚さ(1.8) 重さ(67.86)	①滑石		
第21図-20 図版7-36	調査区 (W1南)	一括	石製 模造品	長さ(7.0) 幅(2.8) 厚さ(1.2) 重さ(35.64)	①滑石		

図版１［遺構：Ｈ－１・２・３、Ｄ－１］

Ｈ－１遺物出土状況（西）

Ｈ－１全景（西）

Ｈ－２全景（北）

Ｈ－３全景（西）

Ｈ－３掘り方全景（東）

Ｈ－３竈全景（南）

Ｈ－３竈掘り方全景（南）

Ｄ－１全景（西）

図版２［遺構：Ｈ－４・５・６・７・14、Ｄ－３］

Ｈ－４・５・14全景（北）

Ｈ－４・５・14掘り方全景（北）

Ｈ－６全景（西）

Ｈ－６竈１全景（西）

Ｈ－６竈１掘り方全景（西）

Ｈ－６竈２全景（東）

Ｈ－７全景（北）

Ｄ－３全景（東）

図版３［遺構：Ｈ－８・９・10・11・12・13、Ｄ－２・４・５］

Ｈ－８、Ｄ－５全景（東）

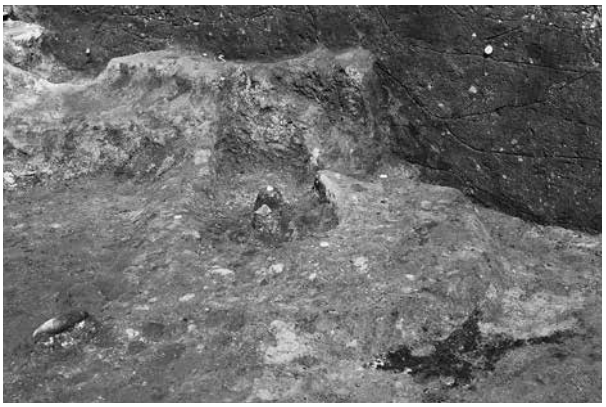
Ｈ－８竈全景（東）

Ｈ－９・13、Ｄ－４全景（北）

Ｈ－10遺物出土状況（南）

Ｈ－10・12全景（西）

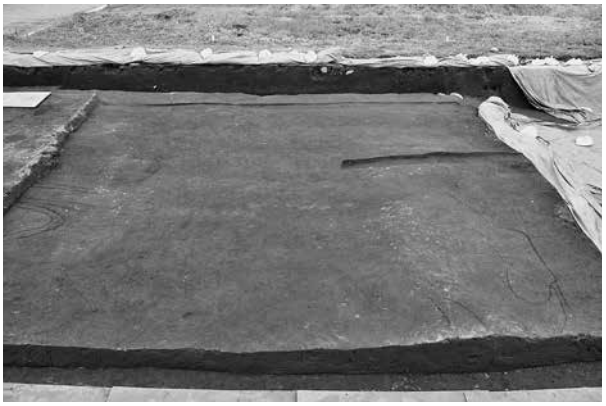
Ｈ－11全景（南）



Ｈ－11竈全景（西）

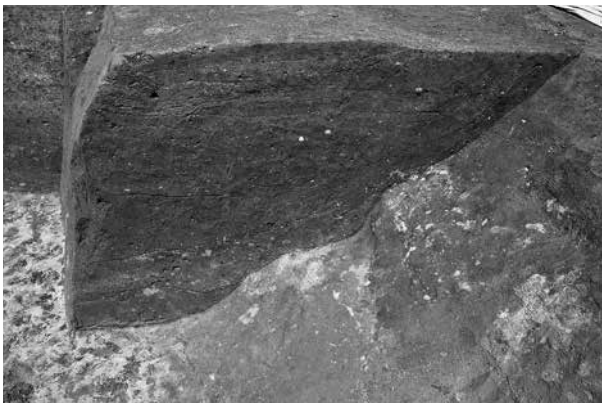
Ｈ－11竈掘り方、Ｄ－２全景（西）

図版４［遺構：Ｗ－１・２・３］



Ｗ－１硬化面全景（東）

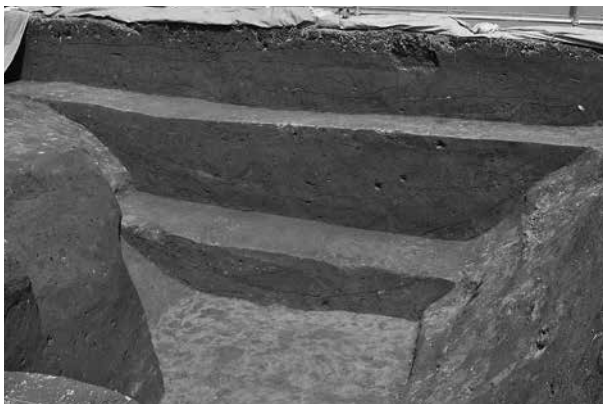
Ｗ－１炭化物・焼土検出状況（北）



Ｗ－１硬化面土層断面（東）

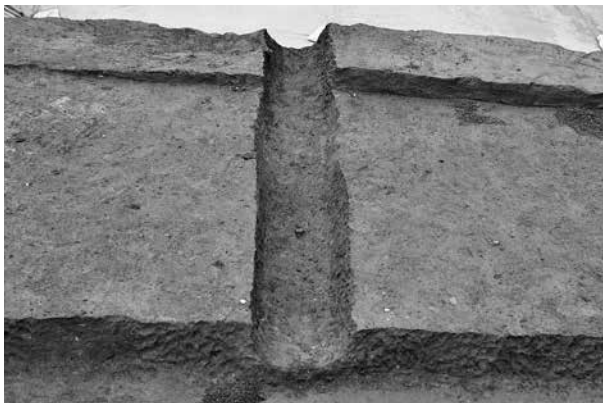
Ｗ－１竈構築材採掘坑全景（南）

Ｗ－１全景（西）



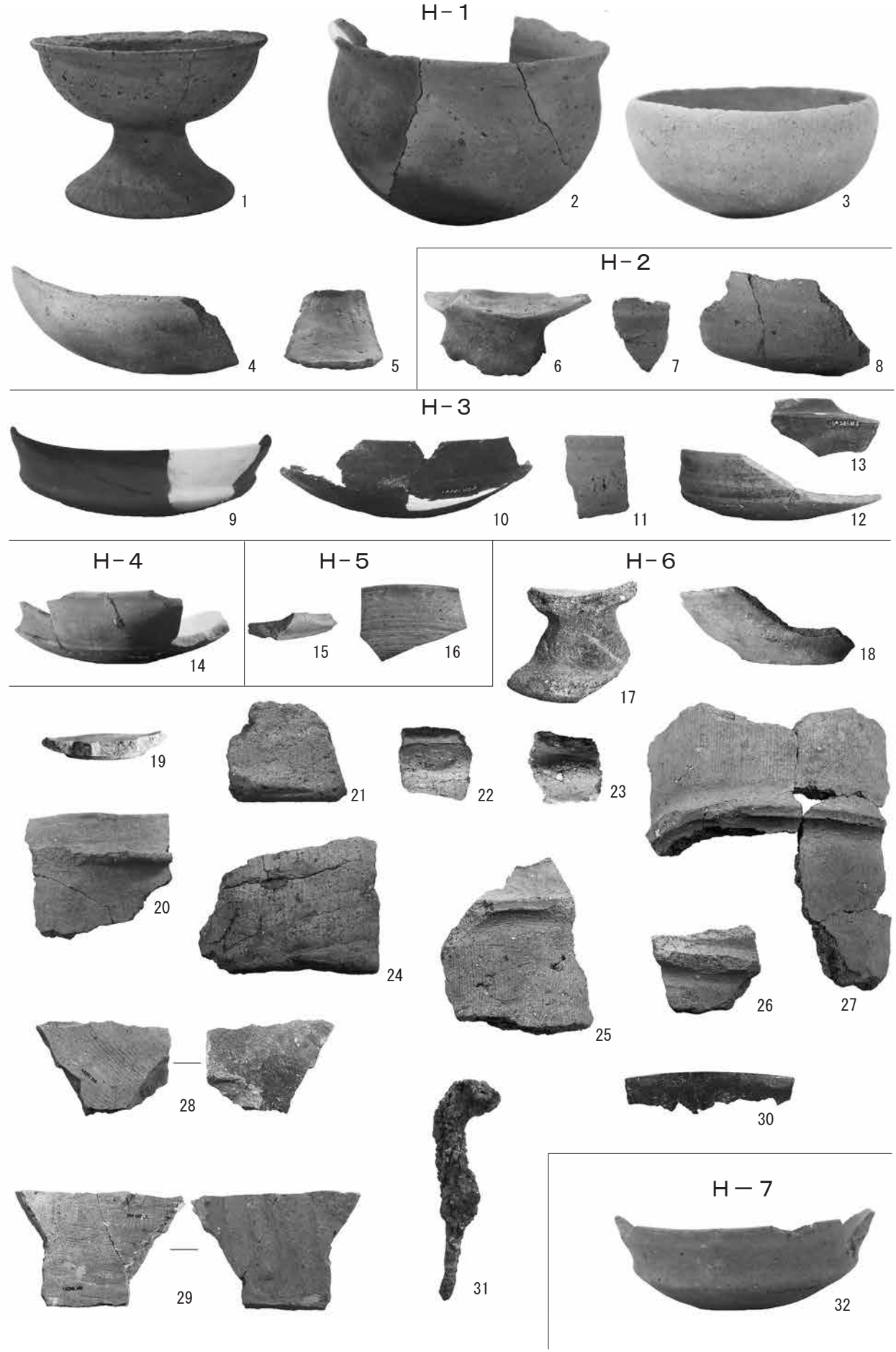
Ｗ－１土層断面（西）

Ｗ－２全景（西）

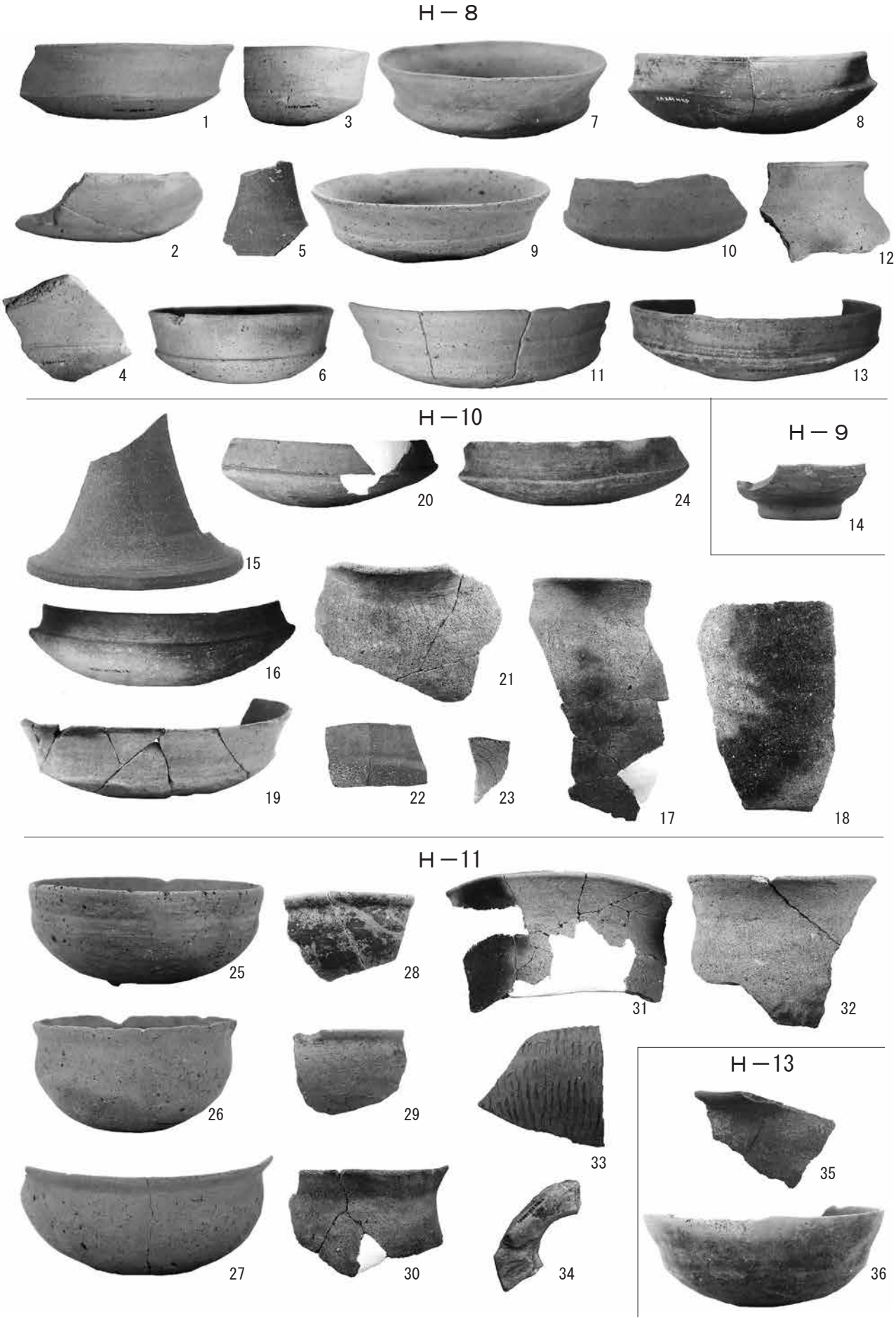


Ｗ－３全景（南）

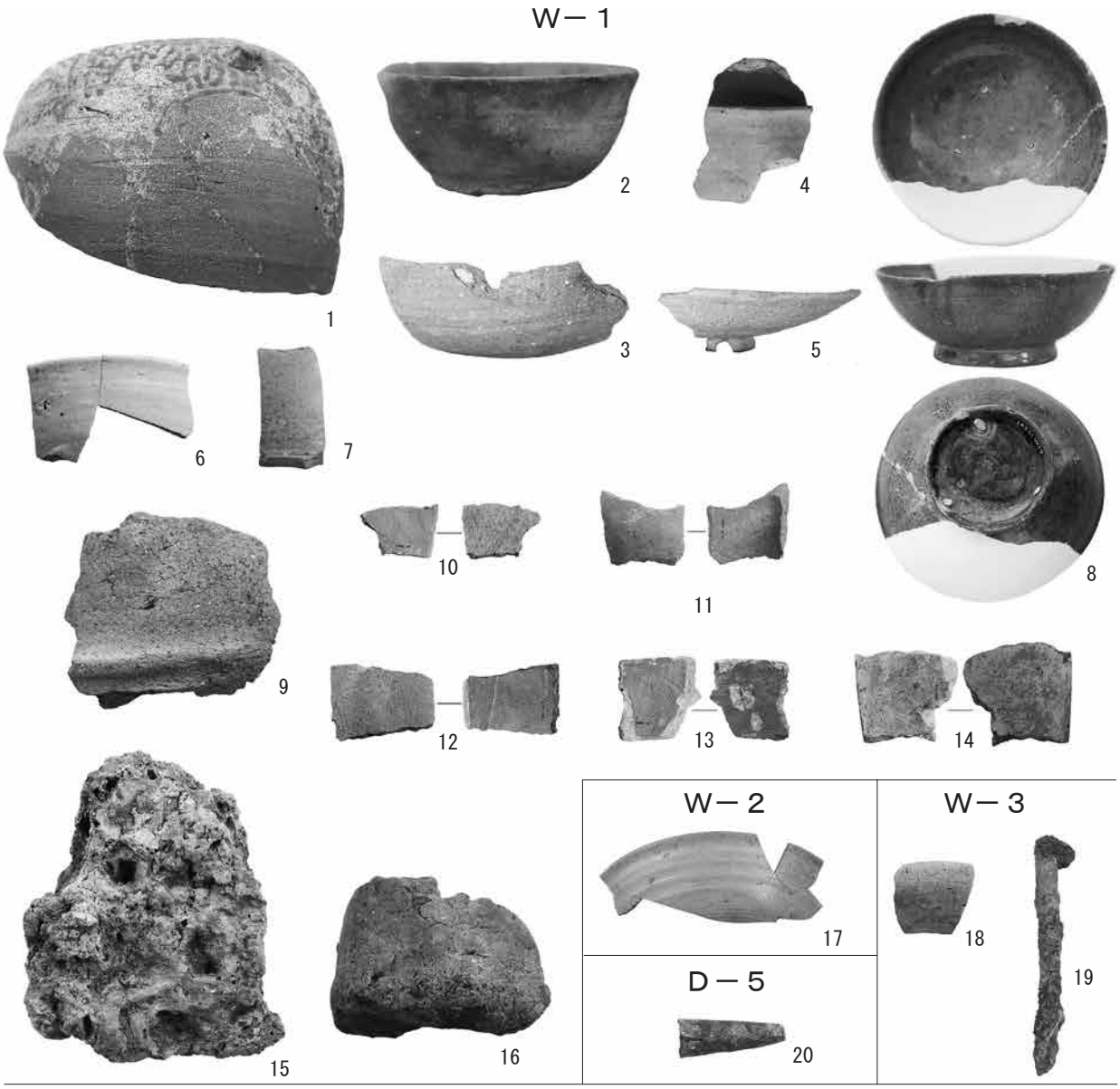
図版５［遺物：Ｈ－１・２・３・４・５・６・７］

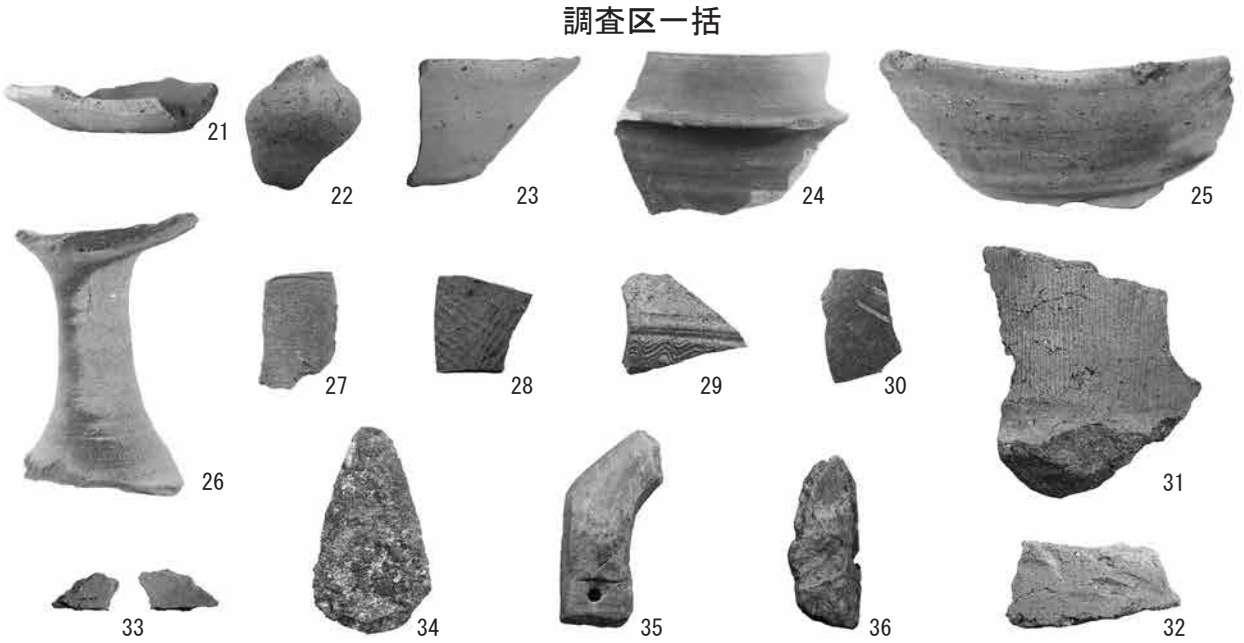


図版６［遺物：Ｈ－８・９・10・11・13］



図版７［遺物：Ｗ－１・２・３、Ｄ－５、調査区一括］





抄　　録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン(134)
書名	元総社蒼海遺跡群(134)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	並木史一（前橋市教育委員会） 瀧澤典雄（スナガ環境測設株式会社）
発行機関	前橋市教育委員会事務局文化財保護課
発行機関所在地	〒371-0853　群馬県前橋市総社町三丁目11番４号　　ＴＥＬ027-280-6511
編集機関	スナガ環境測設株式会社
編集機関所在地	〒371-0056　群馬県前橋市青柳町２１１番地の１　　ＴＥＬ027-234-7771
発行年月日	西暦2020年2月28日（令和2年2月28日）

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村番号	遺跡番号	北緯	東経			
ﾓﾄｿｳｼﾞｬｵｳﾐｲｾｷｸﾞﾝ 元総社蒼海遺跡群 (134)	ﾏｴﾊﾞｼｼｿｳｼﾞｬﾏﾁｿｳｼﾞｬ 前橋市総社町総社 3588-1.3588-2. 3588-3	10201	1A241	36°23'19″	139°02'28″	20190716 ～ 20190926	259.0㎡	前橋都市計画事業　元総社蒼海土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群 (134)	集落跡	古墳・平安時代	竪穴住居跡14軒	土師器・須恵器・鉄釘	銅鋺破片
	官衙関連遺構	奈良～平安時代	溝跡１条	緑釉陶器・羽口・鉄滓 灰釉陶器・埴輪・瓦	
	その他	中世・近世他	溝跡２条・土坑５基	キセル	石製模造品

要約	５世紀後半から６世紀後半にかけての集落遺構が検出され、その中には一辺7.49mの大型竪穴住居跡も検出された。その集落が廃された後には、東西方位の直線状で断面形状が逆台形を呈する、上幅7.5m、下幅3.1m、深さ2.34mの大溝が開削されている。開削や埋没の年代不明である。覆土は類似した土層で短期間の内に埋没したようにみられ、10世紀後半には竪穴住居が重複して造られているので、それまでにほぼ埋没し、As-B軽石が最上部に堆積しているので12世紀初頭には完全に埋没している。過去に同一線上の４地点で溝跡を検出しており、本地域は国府跡の存在が推定されている地域でもあり、大溝は少なくとも何らかの官衙区画溝として開削されたと理解される。

元総社蒼海遺跡群(134)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2020年2月26日　印刷
2020年2月28日　発行

発行　前橋市教育委員会 文化財保護課
前橋市総社町三丁目11番４号

編集　スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町２１１番地の１

印刷　朝日印刷工業株式会社